夕刊 滿洲日報
六月三十日

今回の政變を轉機に 政界大分解作用起らん
既成政黨は看板を塗り替へ 新興勢力擡頭せん

【東京特電三十日發】後繼內閣が何處に落付くかは未だ豫斷を許さないが、孰にしても今回の政變を轉機として政界に一大分解作用が發生し、既成政黨は其の看板を塗て直さねば立ち行かぬことゝなり之に伴うて

無產黨 其他新興勢力の急激なる擡頭を示すであらうとは一般の觀測の一致する處である、即ち民政黨に政權の赴く場合、從來政府を把持したることによつて辛くも結束を保てる政友會は分裂を來し或は新黨と提携し、或は政友會として殘壘し、或は他の小會派と合體して自由主義の標榜の下に時代に順應しやうとするであらう、又中間內閣が出來るとしても衆議院に全然基礎を置かざる內閣の出現は想像出來ぬことであつて新黨クラブが

與黨と なること疑ひなく此の場合民政黨は更に分裂して一半は與黨となるべく政友會の一部亦之に參加することゝなら、孰にしても今後の政界は極めて興味ある注目すべき變動を來すであらうと見られてゐる

善後策を必要とする見地からも政黨外の人が出現することが適當である、斯くせねば國政は益々暗くなつて行くこと必然である、貴族院に於ける政黨員外の人々は一致して此の見解を持ち政界、財界安定のために黨員外の人を內閣の首班に置かんことを希望するものと信ずる

結局民政內閣か
中間內閣では顏が揃はない 近衞文麿公の談

【東京廿九日發電】近衞文麿公の談は左の如し

滿洲事件が內閣倒壞の因をなすであらうとは豫想してゐたが斯く形勢が急轉するとは思つてゐなかつた、然し田中內閣として今迄良く持ち堪へられたものと思はれる、田中首相もこゝでやめたからと言つて惜しくはあるまい、後繼內閣として中間內閣說が一部に有力に傳へられてゐるやうだが適當の顏觸がないのだから結局民政黨內閣の外あるまい

を斷行し大體の時期も明示され度いと思ふ

財界につくす內閣を望む
藤田謙一氏談

憲政の常道から言へば當然第二黨たる民政黨が後繼內閣を組織する事となるがなかく理論通りに行くもので無く所謂擧國一致內閣又は聯立內閣が出現するのではないかと思はれる節が多い、吾々財界に在るものとしては後繼內閣が如何なるものでも金解禁斷行、公債整理、軍縮實行、行政整理を實行するの誠意を有する內閣であつたら之を歡迎する、又是非實行して貰ひ度いと思つて居る

民政黨內閣は財界に困る
中島久萬吉男談

後繼內閣は當然憲政の常道から民政黨に行くものと思ふ、然らば民政黨內閣になつて財界に如何なる影響があるかと言ふに同黨は從來財政方面に於て緊縮政策を標榜して居り金解禁斷行を聲明して居るので、さなきだに沈鬱な財界は更に沈鬱になるのでは無からうか

來連した飯田佐世保司令長官（右は松村副官 左は戸塚參謀）

民政黨內閣では政局は不安
現內閣の致命傷は人事行政 研究會 青木信光子談

【東京特電二十九日發】研究會領袖青木信光子の政局談左の如し

田中內閣は最初から人事行政が拙かつた、首相がいつまでも外相を兼攝してゐたことなど其の第一である、之が瓦解の有力な因をなしてゐる、次の內閣は輕々に豫斷出來ぬが政局安定、財界整理、綱紀肅正等を遂行し得る內閣でなければならぬ、是れ國民一致の希望であらう、民政黨內閣も敢へて反對するわけでないが近く總選擧を行はねばならぬやうでは政局はいよく安定を缺くであらう、此の點は充分考慮を要することであり思想界の現狀から見ても今後の政局はいよく重大である

次の內閣は政黨員外で組織
政黨內閣はよくない 公正會 船越光之亟男談

【東京特電三十日發】公正會の船越光之亟男は語る

田中內閣の瓦解によつて得た教訓は政府にとつて常に樂觀といふことは禁物であることである國內の政事が斯く辛辣を極むることは深憂に堪えない、加藤、若槻、田中と三代も政黨內閣が續いて此の始末であるから此の

田中內閣倒る
柳 舸

◇田中內閣は遂に斃れた。在任二年と二ケ月、歷代內閣の平均壽命を越してゐるから短い方ではなかつた。しかし在任中如何なることをなしたか、如何なる治績を殘したかといふと、世人には單に終始賑やかな、トピツクの多い內閣であつたといふ感が餘りに濃厚に印象づけられる。

◇人事行政の拙劣といふことは組閣の當時から批評された處であるが、之がために與黨の內訌を激起し之がために首相の威信を輕からしめ、而して之がため遂に自ら行詰つて倒るゝに至つた。田中男が自ら外相を兼攝したことは外務と軍部方面の統一を圖るといふ目的に出でたのであつて、其趣旨必ずしも惡くはないが、實際の運用徹底を缺き不戰條約問題にしても、滿洲事件にしても、餘りに多くの累を內閣全體に及ぼしたとは、一に「兼攝外相」の祟りであると見る他はない。

◇田中男自身としては、近代の政治家の中にも稀に見る大きな進步的な經綸の持主であつた。此の人をして其の欲するが儘に振舞はしめたならば、在來の政黨政派の捉はれた型は或程度まで打破されたであらうと思はれる。而も不幸にして、男は案外に弱かつた、對議會にしても、對樞府にしても、而して對「宮中重臣」にしても……。

◇議會を通過した政府が、議會の閉會中に倒れるといふ場合は我政變史上極めて多い事例である。而も前內閣は樞府によつて倒され、現內閣は「宮中重臣」によつて止めを刺された。共に倒さるべき餘病はあつたにしても、政府に超然たるべき「重臣」の陰謀によつて倒れたといふことは、內閣其のものゝ餘りに無力なるを感ずる前に「重臣」の策謀其の事柄に對して國民は齊しく痛憤を感ぜねばならぬ。此の場合は往年西園寺內閣を斃した桂公の術策其のものを彷彿せしむるものがある。當時直ちに憲政擁護の運動が勃然として起り、政界を席捲したのである。今日に此の事なしとするが、田中內閣の不人望か、或は又國民が近來の政界に對して愛想を盡かしたのか、孰にしても考慮すべき多くのものが眼前に橫はつてゐる。

◇兎に角、皇姑屯事件てふ我國にも、政府にも直接關係なき奇怪な事件が遂に倒閣の誘引をなしたといふことは、在滿の我々が輕々に看過すべからざる重大の問題である。支那側すら既に之を忘れ居る事件を、殊更に引出して倒閣の具に供した反政府黨の言動、之に引き摺られてウカくと泥濘に足を突込んだ政府の措置、孰が是であり巧であり孰が非であり拙であるかは、自ら瞭かなものがある。

◇今後の政局の歸趨如何、政黨政派の離合集散如何、我等は深甚の注意を拂はんとするものであるが、孰にしても滿洲問題は今後一層重大な岐路に立たう。從つて在滿の同胞は先づ自らの方針と決意を固うして次の政府に迫る處なければならない。

統治方針を決め朝鮮のため努力
運命を倶にする必要はない 赴任の途次 兒玉伯語る

【京都特電二十九日發】兒玉朝鮮總督府政務總監は赴任の途次桃山御陵に參拜し廿九日夜京都に一泊したが自己の進退に關し左の如く語る

政局の雲行きは東京出發當時多少變とは思つてゐたがマダこんなにならうとは考へなかつた、然し政府が代つたとて植民地行政の任に在る我々まで運命を倶にせねばならぬとは考へぬ、現に自分は關東長官在任中も政府は二三回更つたが其の儘留任して來てゐる、自分としては赴任の上統治方針を決めて朝鮮のために努力したいと考へてゐる

之を機會に黨弊一掃
同和會 永田氏談

內閣が次の議會迄續いたとすれば貴族院は當然蹶起して解散要求の行動に出なければならなかつたと思ふが今日自發的に總辭職することは國家の爲め眞に喜ばしい、此の上の希望は之を機會に政黨の弊を一掃し既成政黨の分解作用を促し我國の立憲政治に一大革新の轉機を劃し度いと切に望むものである

軍閥外交廢止
公正會 松岡男談

田中內閣の辭職は國民思想上からするも憲政運用上からするも國家の慶事である、新內閣に望む處は軍閥外交を廢し世界に平和主義的外交方針を明示し對內的には金解禁問題に對し準備施設として非常なる行財政の緊縮

政友會の總裁は現在のまゝ辭任せぬ

【東京特電三十日發】田中政友會總裁は首相桂冠と同時に總裁をも辭任すべしとは從前から傳へられた處であるが若し此際右の擧に出づる場合、黨內は大紛糾を來すこと明かであるため總裁は依然辭任せぬことになつた

滿鐵の事業分離速かに實現
總裁の方針に基いて

【東京卅日發電】山本滿鐵總裁は廿九日松岡副總裁に對し急遽上京すべき旨の電命を發すると共に山本總裁就任以來の金看板たる滿鐵の經濟化實務化主義に依つて計畫し實行し來つた傍系事業の分離獨立を速かに實現し後繼內閣の方針に依る破壞を免れんとするに決し取り敢ず既に政府の認可を得たものは一氣呵成に創立手續きを大連に於て完了するやう本社に電命した、即ち總裁の最も重心を置いた鞍山製鐵所は資本金三千萬圓（半額拂込み）新義州に敷地を買收せる製鋼會社は資本金一億圓（四分の一拂込み）に決定、更に附屬事業を統轄せしむる滿洲證券會社資本金一億圓（半額拂込み）の三會社の創立手續きを完了せしむる事になつた

閻馮兩氏の渡日決定
愈よ五日出發

【天津廿九日發電】閻錫山氏と馮玉祥氏は七月五日發近海郵船南嶺丸で渡日する事に確定し、廿九日午後一室全部を借切つた、隨行者は兩者を合せて六十餘名である

私立學校規則改正講究中

關東州私立學校規則は州內のみに限られ滿鐵沿線には適用されないので關東廳學務課としては全般的に施行される私立學校規則を制定し文部省令による私立學校規則を勅令により公布する意嚮で目下學務課で研究中であると

關東廳の定期昇級
約七百名けふ發表さる

關東廳所管各官公署及學校教員の定期昇級は三十日發表されたが、高等官方面では神田局長以下五十五名約七百名に達し其のうち警務局方面では高等官を除き判任官は三十八名、囑託、雇員八名であつた、主なるもの左の如し

關東廳遞信副事務官 大津義雄
關東廳警視 尾崎三郎
敍高等官四等
關東廳中學校教諭 相原初正
旅順工科大學助教授 原源之助
同 大日方一司
同 野崎篤義
同 松下進
關東廳警視 森脇留吉
陞敍高等官六等
關東廳產業主事ニ任ス 島大四郎
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
關東產業主事 島大四郎
九級俸下賜長官々房文書課勤務ヲ命ス
旅順工大教授 丸澤常哉
二級俸下賜
關東廳財務部長 西山左內
年功加俸七百圓下賜
關東廳內務局長 神田純一
一級俸下賜
關東廳事務官 藤原鐵太郎
關東廳技師 篠有邦
二級俸下賜
關東廳技師 倉賀野晋
四級俸下賜
關東廳法院判官 川畑源一郎
五級俸下賜
六級俸下賜
關東廳技師 中村貞輔
關東州公立實業學校長 山崎正矩
五級俸下賜
旅順工科大學豫科教授 藤原茂
五級俸下賜
關東廳事務官 和田秀夫
六級俸下賜
關東廳遞信技師 入江武男
五級俸下賜
關東廳警視 高山勝司
六級俸下賜
關東廳女學校教諭 村井榮藏
關東廳理事官 米內山震作
五級俸下賜（各通）
關東廳事務官 乾武
七級俸下賜
關東廳事務官 川合又一
八級俸下賜
關東廳中學校教諭 武山清市
五級俸下賜
關東廳警視 中尾大次郎
六級俸下賜
同 森重千夫
七級俸下賜
關東廳高等女學校教諭 前田政次郎
六級俸下賜
關東廳警視 石井金三郎
七級俸下賜
關東廳遞信技師 杉牧夫
九級俸下賜
關東廳理事官 增田道[illegible]
八級俸下賜
關東廳專賣局通譯生兼關東廳警部補 森本森太郎
任關東廳醫院書記 恩田明
任關東廳中學校教諭 飯塚卯三郎
任關東州公學堂教諭

關東廳官制改正自然沙汰止み
政變に禍ひされて

近く行はるゝ筈であつた關東廳官制改正の件は遂に現內閣の手で其の手續を完了しなかつたので自然沙汰止みとなり之に伴ふ人事異動も行はれないことになつた、後繼內閣が如何なる方針を執るか不明であるが假にも民政黨內閣が出現するとせば同黨特有の緊縮方針の結果として總督官制改正を行ふにしても消極方針とすべく從つて思ひきつた淘汰が行はれるであらうと同廳內では觀測してゐる

錢鈔當局は否決 合併派は可決
五品合併案株主總會 有耶無耶な採決振り

錢鈔信託會社の五品との合併の件を議題とする廿九日夜の臨事株主總會は今朝刊所報の如く議長たる高崎同社專務の不信任案及びそれに代る

假議長 選擧に關する緊急動議に就て重役側と合併派株主との間に紛糾を生じ一旦休憩したが同十二時再開、劈頭高崎專務は先刻提出されたる緊急動議は本日の總會の趣旨に反するからこれを認むる事が出來ないとアツサリ一蹴しやうとしたが合併派承知せず、株式取扱ひの不公平につき重役側の非を鳴らして議場騷然、双方の間に

猛烈な 押問答を繰返したるも果てしなく遂に拾收すべからざる混亂に陷つたので已むなく再び休憩、三十日午前零時半三度開會するや高崎專務は議長を連呼する合併派の動議に耳を藉さず、蜂の巢を突いた如き騷擾裡に議

となれる原案を讀み上げて直に贊否の採決に入るべきを宣したので合併派更に猛り立ち票決權の審査未だ終了せず、從つて幾多の疑問ある株數に依りて採決しても無效であると絕叫して總起ちとなり同專務の

措置を 「橫暴々々」と難詰したが專務は委細構はず採決に入り「原案に贊成者あるや否や」を議場に問ひ、宣言の徹底を缺く騷擾裡に票決數の精査もせず「贊成者ないものと認む」と述べ且つ散會を宣しサツサと退席せんとしたので合併派は一齊に憤慨し「それは無法だ、不合理だ、票決數が定まらぬ中に採決出來る譯はない、また票決の精査もせず否決する法はない」

とロ々に叫びつゝ潮の如き勢ひで同專務の身邊に肉薄しアワヤ摑み合ひの修羅場を演出せんとしたが出張中の沙河口署私服警官その他の爲め制せられて大事に至らず、而も尤も激昂したる株主は到底この儘鎭靜しさうにない

形勢が 見えたので錢鈔側の顧問辯護士は株主側と交渉し其の圓滿解決を圖る方法として双方より委員四名宛を選びて懇談する事とし錢鈔側の高橋、齋藤、古澤、富松四氏合併側の山田、小野、吉田、五泉四氏及び錢鈔重役等別室に集會善後策を協議する事になつた、時に午前一時半

いよく紛糾し訴訟事件起らん
合併派だけで又續會

別項の如く高崎專務が議場騷然たる裡に有耶無耶の採決、散會等を宣したので直に其の善後策を講ずべく株主側の贊否委員八名は重役會と聯合協議會を開く事になり、同一時四十分別宅に集合したるも此の時高崎專務は突然

自動車 を驅つて何れへか姿を晦まして出席しないので右協議會は遂に開催を見るに至らず依つて合併派株主は高崎專務の採決及び散會宣告は不法であり、これを無效と認むべきであるといふ理由に依り直に株主のみを以て其續會を開くことゝなり、同二時五分四度開會したが錢鈔重役及び反對派、中立派等の株主は出席せず合併派株主のみ出席し直に假議長として株主米岡規雄氏を選出し、且つ臨場中の山崎、森田取引所正副所長の立會の許に

議事を 進める事になり先づ五泉株主の提議で高崎專務報告の出席數の中有效株は七萬四千五百四十一なるもその中開會前退席した株主劉仙洲氏の二千三百十株、反對派の行使株式中株主に非らざる替玉の出席者として發見した三件の合計五百七十四株を全部無效として控除し一方專務が無效なりとして控除した石本鏆太郎氏（恩田熊壽郎氏に委任）の一千八百株は委任狀に何等違法がないので當然有效と認めてこれを加へ右差引き七萬三千四百五十七株を有效なる出席數と確認する事を滿場一致可決し、これに基き更めて原案を假議長より朗讀し討論を省略して採決に入り出席株主全部の

贊成で 原案通り五品に合併し認可を得たる上解散する事を可決し同三時十分散會したが、合併贊成株數は三萬九千百五十六株で、出席株數の過半數を示した然し前記高崎專務の宣告が果して有效なりや否や、また此合併派株主のみの續會が果して有效なりや否やは勿論双方より種々の主張あるべく其の法律的解釋にも種々見解の相違を來すべきに依り、勢ひ今後双方より幾多

面倒な 訴訟の提起を見るに至るべく、かくて問題は益々紛糾し前途測り難きものがあるであらう

錢信の三重役辭表を提出す

錢鈔信託會社取締役劉仙洲、同監査役赤塚瀬太郎、遲子祥の三氏は何れも合併派に對する好意的中立の態度を執るため廿九日の臨時總會開會前辭表を高崎專務の手許に提出した

飯田中將來連す
けふ滿洲を視察に

佐世保鎭守府司令長官飯田延太郎中將は參謀戸塚道太郎中佐、副官松村翠大尉を伴ひ定期檢閲をかねて滿洲事情調査のため卅日午前入港の香港丸で來連したが中將は語る

定期檢閲といふより滿洲視察と云つた方が當つてゐるよ、行程は豫定として今日上陸後午後から忠靈塔に詣で明早朝旅順に赴く事になつてゐる、こちらには大正七年練習艦隊吾妻、淺間を率ゐて來港した、その時には吾妻艦長をしてゐた、從つて其時からもう十年近くなるんだからかなり變つてるだらう、先づ旅順の方を濟ましたら鞍山の製鐵所撫順のオイルセール事業等を詳細に視察し安東に一寸寄つて朝鮮經由で歸らうと思つてゐる

尚一行は久保田駐在武官等に出迎へられ投宿先たる星ケ浦の星の家に向つた

人事

▲平川哲一氏（陸軍步兵少佐）三十日入港香港丸にて來連
▲石川鐵雄氏（滿鐵社員）同上
▲伊地知吉次氏（鐵嶺領事）同上
▲友木饒氏（大連商業學校長）同

滿曇話
合併問題 南川麓 TM生

A「五品と錢鈔と合併すれば何うなるのだ」
B「判りきつてらー、六品となるのさ」

天氣豫報

七月一日（曇り）一時晴南西の風
日出 四、三〇 日沒 七、二三
滿潮 午前四、二五 午後四、四〇
干潮 同 一〇、五〇 同 一一、一五

靈魂の淨化作業に「流汗鍛錬」の婦人達

懺悔、感話に滿場嗚咽、啜り泣き 男禁制の婦人修養會

修養團滿洲聯合會及大連各支部主催滿鐵社會課後援の婦人修養團聯合講習會は二十九日午前十時から南山麓小學校の講堂で開かれ本部竹内理事、關東聯盟上田講師、滿洲聯合會福田理事等が講師となり約百七十名の婦人が連日未明より「流汗鍛錬」「明魂發揮」のための眞に火花の散る樣な熾烈な靈魂の淨化作業にいそしんでゐることに驚嘆してゐた、福田理事の談によると會員は遠く哈爾賓、安東邊から來てゐる人もあり、年齢も十四歳位の娘さんから六十八歳のお婆さん迄交り、ゑびの樣な腰を伸ばしてひたすらに美化體操等に精進してゐるのを見ると觀る者の魂まで淨化される樣であると感激して語つてゐた

◇

二日目の午前十時頃大和染料の專務である福田理事の案内で特に、絶對に「男子禁制」の講習會場を覗かせて貰つたが、恰度本部竹内理事の講話の際で、講師の熱辯が「感恩報謝」の生活を說いて人間の胸奥にひそむの眞實性に觸れるや滿堂水を打つたる如く百七十名の會員はたゞ感激に身をふるはせて、嗚咽とすゝりなきの音が聽こゆるのであつた懺悔……感話……美化體操……汗の營み、斯くして惱み傷き或は汚れたる女人の魂も慰められ、希望づけられ、磨かれて瞳に淨らかな光りを增して行くと思はれた

◇

此の作業は、愈一日朝午前三時から催される「靈火の集ひ」と鏡ケ池上方で開かれる最後の林間講演を終へて閉會式を擧げる筈であるが主催者側でも意外に眞摯な會員の態度と良好な收獲を納め得た

フ大尉救はる

【ロンドン廿九日發電】六月廿一日午後四時四十分カルダヂエナを出發してアメリカに向ひ大西洋逆コース横斷飛行の途に就いた後大西洋上で行方不明となつたスペイン水上機の操縦者フラコン大尉及び同乘者は航空母艦に救助された旨當地に公報があつた

音のする映畫を携へて來連

發聲映畫紹介のため フオツクスのラ氏一行

音のする映畫を廣く滿洲に紹介の爲フオツクス、ムーヴィートン、ニュースの極東監督ロイド、ラーバス氏はカメラマンのシーバツク氏、技師のダーリング氏グリツフイン氏を伴ひ遙々と卅日入港の香港丸で

來連 した一行は何れも人ざわりの好い物腰で如才ない言葉で内地を賞めちぎり、後甲板に積んで來たトラツクに仕込んだムービイトンの機械を細く說明し乍らロイドラーバス氏は語る

發聲映畫とはどんなものかと云ふ事を御國の人達にひろく知つて頂き、如何にこのムーヴィトーンが魅力のあるものかを諒解して貰ふため、本國から數名の技師の撮影班が來たんですが、今日まで幸ひ御國の人達の大きな御同情の

熱心 な御後援で豫期以上の好成績を收めた事は感激してゐるところで、その美しい山や海、その他風俗習慣等をカメラに收めて來ました、殊に田中首相が吾々の乞ひを入れて下すつた事は感銘の至りです。元來この發聲映畫には二通りあつてこのムービートーンと云ふのはフイルムそのものが發聲するもので今一つのはヴアイタホーンと云ふので蓄音機がフイルムの廻轉につれて音を出すのです、今度は此方に約一ケ月位

居り 撮つたり、映したりするつもりです、大連には約一週間滯在一日夜協和會館で公開する事になつてゐます、撮る方では矢張り音の伴つたものが好いから支那芝居なんか面白いでせう

夏のレヴュー (D)

丘の憧れ 涼風に回る風車

(一)

海から山へ──こゝは老虎灘街道鶴舞橋の停留場から、橋を渡つた西へ四丁、なだら丘を越え、「峨めきたる牧場の入口である。」

◇

海近きなだら丘の風車の上には鷗が翅をひろげて悠暢と飛んでゐる。

◇

風車は音たてゝめぐる。山の彼方高臺に水を送るのだ。苦力の肩を助ける風ぐるまよ。

坑夫二名行方不明 搭連坑西部堤防決潰

【撫順發】廿八日午前十時頃の豪雨の爲搭連坑西部新斜坑工事場の小川と新斜坑々口との中間の堤防決潰し巨量の濁水一時に新坑内に侵入、坑内を滅茶苦茶に破壞三千圓の損害を與へ折柄作業中の華工二名、行方不明二名の重傷者を出した

右行方不明者は直隷生れ塔連坑梁鴻亭(二二)山東生れ李東良(四四)で重傷者は坑内採炭夫培照(二八)ポンプ方周錫貴(二二)の兩名である

公園の假道場でけふ肉薄戰

大觀衆裡に火蓋を切つた 大阪對滿州柔道戰

全大阪軍と全滿洲軍の柔道試合は愈今三十日午後一時から中央公園テニスコートに於て催された、テニスコートの中央には一段

高 く疊敷の假道場が出來てゐる、一般觀覽者席は日の蔽ひもなく炎天の下に今日の肉薄戰を觀るのであるがそれでも續々詰かけてゐる、午後一時となるや遠來の全大阪軍は大將井上五段、副將濱野五段、中野五段それに續いて卅貫の大男の庄野、和田の各四段其他合計廿名の選手が續々とテニスコートに詰かけた、一方、全滿洲軍は小柄の大將小谷五段及び同じく小柄な副將佐々木五段それに

續 いて吉田、澁谷の各五段等二十名の選手が詰かけて愈午後一時廿分滿洲軍の佐々木三段對大阪軍の長廣二段によつて決戰の幕が切つて落された

けふの寫眞 (上)南山麓小學校で催された婦人修養團聯合講習會(下)發聲映畫を紹介するために來連した米國フオツクス、ムーヴィートンニュースの極東監督ロイド、ラーバス氏一行(前列左監督ラーバス氏、右カメラマンのシーバツク氏、後列左技師ダーリング氏、右グリツフイン氏)

勞農露國の製品長春地方に進出

或物は外國品を凌駕

【長春發】最近奥地の需要は益々多くなり長春市場には日本商品を始め南よりする輸移入雜貨が漸增してゐるが注目すべきことは之と同時に北滿及びソウエートロシアよりの輸移入も近來頓に激增し現にこの程復活した中東麥酒公司の如きは一面坡に

工場 を有し哈爾賓市場に製品を供給してゐたが、最近は遠く長春市場まで侵入し日本製ビール三十五錢に對し三十錢內外にて挑戰してゐる、ソウエートロシアの製品は之亦漸增の趨勢にて果物罐詰の如き品質及び値段に於て優に外國品を凌駕しバタの如きも一フント八十錢の北滿バクに對して六十錢の安値にて競爭してゐるその他にもテーブルクロース、ルバシカ、マカロニ、石鹼、魚類、鮭

煙草 マツチ、葡萄酒等ソウエートよりの輸出品は相當多種類に及んでゐるがたゞ之等は未だ稀らしいと言ふ程度で商品としては日本品に對抗する程勢力はない

中元の贈答品は絶對に廢止せよ

關東廳の生活改善會から管下各官廳に示達

盆暮れの禮物贈答は上役のお鬚の塵を拂ふ御機嫌伺ひの手段としては都合のよいものだけれども虚禮を嫌ふ人にとつては頗る不快で迷惑な習慣であるが、サラリーマンの悲哀、他が行へば自分も行らぬ譯にゆかず

今年 もお盆が近づいたのでボツ〳〵中元の贈答品に氣配りする向もあるので關東廳生活改善會では中元の無意味な贈答を廢止するため管下各官廳に對しこの程贈答品の絶對禁止を示達すると共に會員相互の自覺を促してゐる、永谷地方課長は委員長として右につき語る

一般日本人の日常生活中には無駄が多く特に暑中見舞の中元品とか、歳暮品の贈答に無意味の虚禮があり受ける方も贈る方も唯慣習的に行ふ傾向があり、是等を廢止することは社會生活の上に齎らす

効果 は非常に多い筈で、

今回中元贈答の廢止を會員にお勸めするのは其れがためである內地の大都會を始め各地に於て商品券の如きものが發達したのは其の餘弊であつて今後は大いに形式的の點を改めたいものである

分水驛の殺人犯主魁者逮捕さる

七盤嶺附近で交戰

【大石橋特電三十日發】去る十八日午前一時分水驛前木炭商石田屋方に押入り主人を銃殺し金品六百餘圓を強奪し行方を晦ました兇賊を其後大石橋署にて搜査中廿四日午前三時營口縣陳家屯陳明權方に潛伏せる事を確め大津司法主任署員數名と共に逮捕に向つた處、主犯者は早くも逃走し陳明權一人を引致、同人は當時見張りしてゐた事を自白した、尙連累の一人海城生れ李建盛(四七)を引續き逮捕し主犯者は巧に姿を晦ましゐたるも蓋平より約八里の七盤嶺附近森林中に潛伏中を發見彼我拳銃を射擊し合つた後廿九日午前四時逮捕した此者は營口縣生れ張玉銅(二九)と呼び射ち合の際足部に負傷してゐた

夏期土曜講座

成人教育のための關東廳學務課社會教化係の主催に係る夏期土曜講座は左の如く第一回講座を旅順及大連の兩所に於て開講することになつた

▲旅順は高等女學校講堂に於て七月十三日午後七時十分集合し八時五十分から開講、演題は「音樂夜話」講師は大連音樂學校長でピアノ、獨唱、蓄音器、レコードの實演あり婦人のピアノ伴奏、或は民謠の話等

▲大連は常磐小學校の講堂で七月廿日午後七時十分集合し八時五十分から開講、森本地方法院長の「陪審法略說」聽講は自由で且つ無料である

自稱新聞記者

新聞記者と稱し各方面で惡事を働いてお尋ね者となつた自稱大分縣別府中島久雄(三七)は卅日午前仁川より入港の關東丸で來連したが臨檢の水上署司法係にひつ捕へられた、引致せんとする同署員に對し「おれは新聞記者だ」と許り不埒にも自稱新聞記者風を吹かしてゐたと

南船北馬

◇……二十九日午後三時半頃當地方に沛然たる驟雨に交り約五分間に亘つて豌豆大の降雹があつた農作物には被害はないやうである【鐵嶺發】

◇……安東三番通永月館方李命順(二四)は酌婦としての營業許可を安東署に願出たので本籍地に照會したところ同人は大正十五年六月一日午前四時咸鏡南道長城郡々內面邑下里で死亡せる旨家主福木ルイより屆出があつた【安東發】

◇……吉林の馬賊は吉林縣六區方面で馬賊團と衝突、銃火を交へたがその際女馬賊一名を射殺したとてその首級を斬りとり省城へ運び込んだ【吉林發】

◇……義縣湯屯東北陸軍第二十四旅第三營々長少佐關連林(四七)は二十八日午後十一時奉天發列車で北行の途車中で警乘員の爲め阿片五百匁を所持してゐることを發見され鐵嶺署に突き出された【鐵嶺發】

臨時競馬

六日目午前

第六日目臨時競馬の午前中の成績左の如し

▲第一競馬各抽籤混合千六百米 一着玄海(一分十六秒三)二着金峯(一馬身)三着張飛(七馬身)配當金十二圓五十錢

▲第二競馬春抽籤混合二千米 一着皐月(二分五十四秒)二着藤(一馬身)三着羽衣(二分の一馬身)配當金三十八圓

▲第三競馬各抽籤混合二千米 一着室戸(二分四十三秒)二着豐(二馬身)三着魁(三馬身)配當金十七圓十錢

▲第四競馬古呼千六百米 一着松島(一分六秒五分の四)二着博多(一馬身)三着羅目王(四馬身)配當金八圓七十錢

州內外教育對抗陸上競技

豫選會擧行

教育研究會二十周年記念として催される州內外教育對抗陸上競技州內豫選會は七月七日午後一時から旅順運動場に於て擧行零時三十分集合、午後一時競技を開始する其の種目は

百米、二百米(八百米リレーを兼ぬ)千五百米、走幅跳、走高跳、砲丸投、圓盤投

等にて競技方法は昭和四年全日本陸上競技聯盟規則に準ずるものであると

コドモページ

ラヂオ童話劇 赤い小鳥（四）

白崎正夫

王様。あゝいゝお月様だな。何時の間に夜になつたのか、さつぱり氣がつかなかつた、まるで晝の様だ、之なら燈火もいらないだらう。おやおや、町が見えるぞ、森も小川も、山もみんなこの窓から手に取る様に見えるぢやないか。併し本當に愉快だな。見渡す限り私のお國だ。」明日になれば、あの山の向ふの國に、私の兵隊が雪崩を打つて攻め込む筈だが、さてどんな町があるのか一つ小鳥に聞いて見やう。おいおい、赤い小鳥、あの山の向ふには何があるのだ。

赤い小鳥。王様、あそこには立派な町があります。

王様。うん成程、そしてお城はどんな風かね。

赤い小鳥。とても美しいですよ。

王様。私のお城とどちらが立派だ

赤い小鳥。較べものになりません

王様。さうだらう、私のお城より立派だつた隣りの國は、一昨日さんざん毀してやつたから、先づ今の所、私のお城が世界一といふところだ。

赤い小鳥。いゝえ、あちらの方が美しうございますよ。

王様。嘘をつけ！私のお城の方が美しいわい。

赤い小鳥。王様、私は不思議な小鳥でございますよ。私には山の向ふがよく見へるのです。あちらのお城の方がいくら立派だかしれません、本當に綺麗だこと、まるで繪に書いた様ですわ、見えない王様に一目お見せしたい位です。

王様。そんなことがあるものかい

……間……

王様。おいおい赤い小鳥、では向ふの海の中に小豆程の小さな島があるだらう。あそこには人間が何人住んでゐるんだい。

赤い小鳥。王様一人でございます

王様。何一人だつて？そしてどんなにして暮してゐるのだ。

赤い小鳥。朝と日暮れ方には魚を釣つて、晝間は薪を斷つて居ります。

王様。何だ漁士か、樵夫か。

赤い小鳥。いえ、立派な人ですよ

王様。アヘヘ……何が立派なものか。そして夜は何をしてゐるのだ。

赤い小鳥。夜は鍼を磨いて居ります。

王様。何、鍼を磨いてゐるつて？フフフ、そりや薪割りの鉈だよ

赤い小鳥。いゝえ、本當の鍼ですよ。

王様。馬鹿！そんなことがあるかい。

赤い小鳥。本當に鍼を磨いてゐるのですよ、王様！

王様。嘘を言へ、お前は近頃眼が見えなくなつたな。鉈と鍼を間違へる奴があるかい

赤い小鳥。いゝえ、王様、あなたこそ眼が見えなくなつたのです

王様。何だと、もう一度言つて見ろ！

ホーラ　オホキナ　イヌデセウ。ワタシノ　ウチノ　イヌヨ。ナマヘ　ハ　グレート　トイフノ、ワタシノ　セイヨリ　オホキイノヨ。コノ　マヘ　アタシ　ガ　イケニ　オチテ　オボレサウニ　ナツタトキ　グレート　ハ　アタシ　ヲ　タスケテ　クレタノ。グレート　ハ　オツカヒモ　スルノヨ。ギユウニク　デモ　オヤサイデモ　ナーンデモ　カツテクルノ、オリコウ　デセウ。アタシ　グレートガ　ダイスキ　ヨ。

汽車の窓から【第四信】

大正小學校長　湯下誠一郎

一、京城から

京城の町を見ることはこれで私は三度目です。京城の驛をたゞ通過しただけで、汽車の窓からこゝの町を望見したことも此の外に二度ほどあります。」

同じ町を何年か置きに同じ眼で來てむかしを思ひ出しながら今と比較して見ると、開け行く町のすがたがありありと頭の中に浮んで來てひとしほ感興が湧き出します。自然の公園かと思ふほど景勝の地を占めてゐる初夏の京城は、年々に加へられた人工の美をつくして前に見た時よりもうんとよくなつてゐるのを嬉しく思ひました。何時來て見ても京城で私の一番感心することは

電車に乗る人々のきまりのよいことです。京城の電車は入口が車臺の後側にあり出口が前の方になつてゐるので、乘る者は後から乘り、降りる者は前方から降りるやうにしてあります。ひる間の人の少い折には今もよくそれが守られてゐます乘る者は乘る場所を間違へずに乘り、順々に降り場所を考へて前へ前へと進むのです。そこに少しの混雜もなければ押し合ひもありません。私は何時も思ひました、そして感心しました、——京城の電車ほど訓練された電車はない、

京城の市民ほど電車に對して訓練された市民はない、よくもこんなにならされたものだ、よくもこんなになれたものだ……と。

ところが今度來て、朝の混雜に際してはそれがすつかり亂されようとしてゐるのを見ました見て驚きました。ほんたうに惜いことに思ひました。朝の七八時に際しては仕事に行く人、役所に出る者、學校に通ふ生徒、等々、時間を目當に押寄せるのですからその數へもきれぬ

人々の動きを、どうしても取りしまることが出來にくくなつて、その時刻だけの滅茶苦茶は仕方がないといへば仕方がない——がしかし、全く惜いことをしてゐると思つたのです出來ることならそのきまりをもう一度堅く守るやうに朝でも自重をしていただきたいと思つたのです。よその事が私たちのお手本になります。よその町の事が自分たちの町の事について強く考へさせます。これぞ私が京城の方々にはこの事を申し上げずに大連の皆様にお便りをする次第です

ニドメノ大チャンノタンケン（66）

ハルミチ作　ジラウ畫

パナナ　ヲ　タクサン　タベタ　ノデ　大チャン　モ　ブル　モ　オナカ　ガ　イツパイ　ニ　ナリマシタ。ソノウチ　ニ　ツカレガ　デテ　ウトウト　ネムク　ナリマシタ。

大チャン　ハ　タウトウ　スナ　ノウヘ　ニ　ヨコニナツテ　ネムツテ　シマヒマシタ。ブル　モ　大チャン　ノ　ヨコニ　アシ　ヲ　ナゲダシテ　ネムリ　マシタ。

シバラクシテ　大チャンハ　ブルノ　ホエルコヱニ　メヲサマシマシタ。ミルト　大チャンノ　マワリヲ　ヤリ　ヲ　モツタ　五六ニンノ　クロンボガ　トリ　マイテ　ヰマシタ。

學校と家庭

買物を通して眺めた兒童の修學旅行　いろいろの教育價値

熊岳城小學校訓導　柴田亮一

◇…修學旅行が、單に見聞をひろめると言つたやうなこと以外いろいろの意味に於て教育價値のあるものであることは今更申すまでもありませんが、此の間子供達と一緒に修學旅行をして其の買物を通していろいろの尊い教育價値を見出だすことが出來ました。

◇…旅行に持つて行つてもよいと約束したお小遣ひは二圓だつたのです。めつたに現金で買物などをすることのない熊岳城の兒童としては、金錢教育のよい機會でした。持つて行つたお金の額を調べたところ最高四圓（女兒）最小一圓五十錢、平均二圓十九錢、使つた額は、最高男兒三圓、女兒三圓六十四錢。

◇…最小男兒九十七錢、女兒六十九錢平均（男女とも）一圓七十八錢、ですから使すぎたとも思ひません、男兒は主としてピストル、鐵砲などの玩具を買ひ、女兒は頭髮飾りの櫛など身の廻りの品を買ひました。一番高價な買物は大正琴で一圓七十五錢安いものでは二錢のピストル（鉛金細工）でした。可愛い買物は赤ちやんの乳首ネブリ子、男の子が妹へのおさげドメ、女兒が弟へのピストル等を買つてゐるのも可愛らしい氣がしました。兩親への心盡しとしてはお父さんに、楊子入れ、パイプお母さんに、中ざしピン、繼鈴、などがありました。

◇…買物を自分の品と土産物とに分て夫々に金高を調べて見ますと三分の二の兒童は自分の品よりも土産物に多くの金を支拂つてゐました。

◇…妹に櫛、弟には繪本と、一々財布の金と相談して品物を漁りつゝ買つて居る、その嬉しさうな、様子を傍で見てゐるといぢらしくなります。中には思ひ餘つて「これはどうでせう、姉さんの横櫛に」などと相談に來るものも居ました。

◇…「可愛い子には旅をさせ」で旅に出て初めて友愛の情がヒシヒシと迫つて來るのであります

童謡　デンシャ

大廣場小學校一年　堀英子

チンチンゴウゴウ
ウゴキマス
レールノ上ヲ
ハシリマス
ヒトヲノセタリ
オロシタリ
イツタリキタリ
イソガシイ
デンシャハネンネヲ
ドコデスル

學校だより

◇聖德校增築工事　年々就學兒童の激增する聖德小學校では目下增築工事を急いであるが愈々竣工の曉は教室五、理科室一、同準備室一、其の他兒童圖書室等が出來ることになつてゐると

新刊教育書紹介

▲國體讀本（松宮春一郎編）一般青年、高等小學校卒業以上の男女學生等のために書かれた我國の國體論である。國體の根基、三種の神器、我が國の上下、立憲政治、平和と戰爭、日本刀等の項に分けて詳しく分り易く書かれてゐる（八十錢、世界文庫刊行會）

平安異香（35）

葉多默太郎作　中一彌畫

處女受難（四）

おつねは夢みてゐるのだつた。曉方の川舟に、美々しい大學寮の學生と語らつてゐる自分は、お邸の夜長話に聞いた支那の戀物語の女主人公そつくりだ。

「西湖の遊女と貴公子つてなところだわね。このまゝ別れたんではお話にならない。何とかならなくちや——」

若者の舟が一足遅いか、おつねが川へ轉げこむのが一刻早かつたら、今頃は水に脹れあがつてぽかく浮いてゐる筈のおつねだが、そんな事はけろりと忘れて、甘い夢に夢中になつてゐるところ、これがおつねの身上かも知れぬ。夢を追ふ女——とでもいふか。

したがつて、おつねは何もかも一人ぎめだ。青年が厭な顔をすると、初心だからきまりが悪いんだと思ひ、青年の皷動が、怒りのために高くなると、血が燃えて來たんだと考へる。萬事この筆法だからお構ひなしである。だんだんにちり寄つて行つて、白い腕を若者の頸に、巻きつけかねまじい様子になつた。が、

「おい、船頭さん」

不意に鬼瓦の童が聲をあげた。

「舟を岸へつけてくんな」

「よしきた」

ギーと舳を振つて舟が岸に着くと、

「姐さん、こゝは山崎だ。京まで歩いたつて知れてゐる。さつさと上つてくんな」

童が云ふのだつた。

「あら、あたしを上げるの？」

「黙つて上つてくんな。それ危ないよ」

兎や角云はさない。童の癖に大變な力で、否應なしにおつねを横抱きにして、ポンと岸へ放りあげて、

「それ、船頭さん、舟を出した」

自分で一棹をついて舟を出す。

「あらく、若様、あなたお名前は？」

岸でおつねが呼んでゐるが、こちらは童、

「それ旦那様、云はねエこつちやねエ。あんた様は男を見ると誰でも貴紳だと思ひ、女だと誰でも上﨟の扱ひをなさるんでこんなことになる。あれは旦那様、遊女だよ。あんなものは河童の餅食にでもしてやつた方がよかつたんだよ」

岸のおつね、じだんだ踏んで口惜しがつたが追つ付かない。

「勝手にしやがれ、わからずや。フン、だ」

尻を捲くる恰好をして見せて、そのまゝ裾を高くからげると、おつねは邪慳に蘆を踏み砕いて、サツサと岸へ上つてしまつた。が、流石に舟を振返つて、

「惜い男だねエ」

舟は構はず漕ぎのぼつて、朝日が三四分登つた頃に淀へ着く。

「船頭さん、御苦勞でした」

「どうぞお靜かに」

荷物を鬼瓦の童に擔がせて、船着場から街道へ出ると、

「旦那、如何で。京へお上りなら歸り途……」

宿場輿がずらりと並んでゐる。

「いや、乗物は要らない」

斷つて、童を見返り、

「歩いてみよう。あまり麗かだから」

若者は先に立つて歩き出した。

軈て、桂川の堤を歩いて京に入ると、東寺の塔が、澄んだ空へ高々と伸びてゐる。羅生門の青い甍も見える。

「久しぶりだなア」と若者は思ふのだつた。

半歳の間別れてゐた都である。

この若者、名を宮部三郎春光と云つた。が、宮部は假姓で本姓は土居である。日向の豪族に土居といふのがあつて、春光はその長子だが、大學寮は、五位以上の有位者の子息に限るといふ制限があつたので、京都在住の父の友人で宮部左門といふ人を假の親として寮へ入つた。これは三年前の話だが、それ以來春光は宮部姓を名乗つてゐるのだつた。

春光は京の入口で釘付になつたやうに立停つてゐる。しかしこれは、半歳ぶりに見る羅生門の甍に見とれてゐるのではない。その胸底を窺ふことが出來たなら、そこに一人の處女の姿を見るであらう。

「幸よ無事でゐるであらうか。長らく音信をしなかつたが——」

その幸は、恰度その時、奥の間で戰く胸を抱きしめて、店の間の話に耳をすましてゐるのだつた。

女浪曲來演

今年に入りその大連の興行界は浪花節に次ぐ浪花節で矢次ぎ早の様であつたが今般女流浪界の重鎭春野百合子と同じ格式を持てるため各地より引つぱり凧の人氣者吉田奈良千代師が一門を引き連れ七月一日より大連劇場に開演と決定した奈良千代は現女流浪界の新進であつて蓄音器で聽く稀に見る美音の持主である節調讀口、タンカ等誠に齒ぎれが好く女らしき處なく奈良丸そつくりである讀物は目新しきものばかりを選び上演する由なれば美形に美音と文章は聽客を恍惚たらしむ舞臺に立つ者九名で定めし好浪家を嬉しがらす事であらう

七月第一週映畫戰
帝國館と演藝館の對立

七月第一週は各館とも大物を上映して果然夏場に珍らしい映畫戰を演ずるものと見られてゐたが、浪速館の「東京行進曲」が一週遅れた爲めに帝國館と演藝館の對立となり帝國館は阪妻の「赤城颪」と鈴木傳明の「大都會勞働篇」を以て日本物の特作品を二本ならべて人氣を煽つてゐる、これに對して演藝館は名映畫「メトロポリス」によつて洋畫ファンの興味をそゝると共に日本物は五月信子が小澤プロで製作した「ラシヤメンの父」を組合せ兩館とも宣傳に火花を散らしてゐるから明日の初日の蓋開けが興味を以て迎へられてゐる

◇◇大都會勞働篇◇◇　數篇より成る大作「大都會」の第一篇で監督牛原虚彦と主演鈴木傳明のコンビネーションで製作された松竹、蒲田の特作品である【一日から帝國館上映】

大都會勞働篇

「彼と××」三部作、「陸の王者」を作つて日本映畫界に色々の意味で問題になつてゐる牛原虚彦と鈴木傳明のコンビネイション最近作大都會勞働篇の試寫を見る。

再び彼等の凱歌である。

彼等の十五回に亘る永い提携は渾然として大都會の中に流れてゐる。これは大厦高樓櫛比する大都會に汗と油に塗れて苦鬪し前進する一機關手の物語りである。六月と七月に映畫時代に連載されたこのシオリオを讀まれた人々に、如何にも甘い昭和の立志傳——と云つた感じの大都會は俄然健康な一幅の繪となり、律動する詩になつてゐる、殊に字幕の秀逸は見逃せない。

感傷の定評ある牛原監督が彼の衣裳をかなぐり捨てゝ試みたる一大躍進であり。一大展廻である。彼は巧みなオーバアラツプによつて美しい人情を描いてゐる。例へば「男は女にくつゝいて了へばよいものではない、男の出世の……」と説く新井淳と田中絹代さては技師の來訪に歡喜の絶頂に迄高潮する父と子の感情、鈴木傳明の荒削りな線と藤野秀夫の老巧な線との交錯——私は此のニツククライマツクスの場面の牛原虚彦の描寫に限りない敬服を感じる。さては彼等を圍つて、事件を點綴して行く、吉谷横尾渡邊齋藤以下蒲田の珍優總出演に依るコメデイーリリーフの挿入である。實に牛原虚彦の功績は稱えられてよい。

此のスタフフが誇る水谷文次郎のカメラ功績もまた稱えらるべきだ。五十哩の速力で猛進する急行列車の移動撮影、或ひは大吹雪の極寒の北海道に咆哮するロータリーの撮影……とまれ彼は牛原監督の良き伴侶である。

或る點に立つ尖鋭は此の映畫に勞働者の暗黒面が描かれてないことを批難するだらうが、私達は彼等の健康な姿を直視することに依つて拍手してよいのではなからうか。

大都會勞働篇は日本映畫の水準を高く抜き出た佳作であること斷言し得る事に私は限りない嬉しさと誇りを感ずる（津田皓三）

滿洲日報

田中内閣の總辭職は非立憲的策動に因る
重大懸案は圓滿解決し滿洲事件に無關係

【東京特電三十日發】田中内閣の總辭職理由は政策の破綻又は行詰りに因るに非ず、即ち不戰條約は樞府に於て多數を以て政府原案を可決せられ又滿洲事件についても内閣の方針は既に御裁可を受けて居る實情である、而して是等の點について政界消息通の間に政變の微妙なる動機について種々の揣摩臆が測傳へられ諸説紛々として居るが要するに言ひ表はし難き非立憲的政機の轉換であつた事を遺憾とされて居る、更に總辭職の直前に滿洲事件の問題があつた爲に是に因る責任を執つた如く誤解さるゝ事は、帝國の信用上非常な障碍を齎らすものであつて冷靜な政治家の間には此事は總辭職の理由と截然區別すべきものであると「なし非常に憂慮して居る

政友幹部は沈默

【東京卅日發電】政府總辭職の決意原因は滿洲事件に絡む政策上の行詰りの爲めで無く宮中側近者の陰謀に依るものなりとの説あり若手政友會議員は卅日有志代議士會を開き政府に居据りを求め憲政擁護運動を開始すべしと憤慨し强論を行つたが閣僚並に幹部の慰撫により中止されたが、更に同日午後の同黨幹部會も一切沈默を守る事に決定し今後政、新合同を促進して議會に於ける大勢を制するに努むべき事に意見の一致を見た

民政、中間兩内閣の賛否論は相半す
政、新提携は政局觀測の重點　歸着點豫想し難し

【十日發】後繼内閣問題は床次、宇垣氏等が首班者となるべしとも言ひ又平沼氏を首班とし是に宇垣床次氏を支持者とし入閣をなすべしとも傳へられて居る、勿論憲政常道論、中間内閣説共に賛否相半する状態で何れに歸着するかは混沌として豫想し難いが別項政友、新黨の緊密なる提携の實現は今後の政局觀の一大重點たるを失はぬ

種々の説が傳へられ憲政常道論よりすれば第二黨たる民政黨に大命降下すべしと言はれ又今回の政變は政府の掲げた政策の行詰りでないから寧ろ此紛糾せる政局を拾收する爲めには第三者の立場にある者を以て其局に當らしむべしとする説も有力であつて種々策動されつゝある、此中間内閣には平沼、

後繼内閣は結局民政黨か
財界各方面では好感

【東京三十日發電】後繼内閣は政界の一部に中間内閣運動あるにも拘らず憲政の常道を辿つて民政黨總裁濱口雄幸氏に大命降下することは確實と觀られ財界各方面では民政黨内閣出現に好感を有して居る模樣である、而して民政黨では閣僚の銓衡に當つては努めて情實を排し公正な立場に立つて適材を適所に充當する方針であり、殊に金解禁問題に直接關係ある大藏大臣の銓衡に對しては特に愼重の考慮を爲すものゝ如くである、民政黨内閣に對し國民の期待する處は濱口總裁によつて世相頽廢を救ひ綱紀粛正を期待し得べしといふにある

民政黨内閣の可能性は乏しい
新黨クラブの觀測

【東京特電三十日發】田中内閣總辭職の決意に伴ふ政局の推移に就て新黨クラブは次の如く見てゐる 田中内閣が總辭職するとも次の政權は必ずしも民政黨に歸くものとは考へられない、民政黨の所謂る憲政常道論は次の政權が第二黨たる反對黨に行くべきであるといふのであるが此の理論は無條件で肯定することは出來ぬ、即ち政局安定を第一義とせずして憲政の常道論は空疎である、假りに民政黨が政權を得ても次の議會に於いて過半數を制することは出來ぬから政局は依然として不安であり同時に次の議會は解散が必定である、此の見地から必ずしも民政黨が次の

民政黨内閣　顔觸豫想

【東京卅日發電】民政黨内閣成るとせば大體次の如き顔觸れであるといふ

總理	濱口雄幸	
外務	幣原喜重郎	
陸軍	宇垣一成	
海軍	財部彪	
内務	安達謙藏	或は大角岑生、安保清種
大藏	町田忠治	或は若槻禮次郎（黨外よりせば井上準之助）
鐵道	江木翼	或は小橋一太
拓務	江木翼	或は小橋一太
司法	俵孫一	或は伊澤多喜男
農林	松田源治	或は町田忠治
遞信	原脩次郎	或は小橋一太
商工	田中隆三	或は片岡直温
文部	松田源治	或は降旗元太郎
書記官長	松田源治	或は鈴木富士彌
法制局長官	川崎卓吉	或は賴母木桂吉、永井柳太郎
警視總監	松村義一	
臺灣總督	石塚英藏	

尚朝鮮總督、關東長官には伊澤多喜男、塚本淸治、菅原通敬、佐竹三吾氏等より選任さるべしとの説が有力である

濱口總裁　組閣の方針
黨内に閣員物色

政局を擔當するといふ可能性は乏しい、我々としては此際嚴正な立場を確守して時局に善處すればよい、政局安定の鍵は依然として我々に存するから毅然として國策の遂行を國家的ならしむることを念とするのみである

【東京特電三十日發】民政黨では既に大命が濱口總裁に降下するものと豫期して若し二日に御召しを蒙れば三日には閣員名簿を捧呈し得る用意ありと稱してゐる、濱口總裁は黨内の意嚮に基き組閣方針につき内々考慮を廻らしてゐるが

濱口邸の會合

【東京卅日發電】小石川區久世山の濱口總裁邸は今朝來民政黨幹部黨員等の訪問で賑はひ安達謙藏・江木翼氏等は午前九時三十分同邸を訪問し密議を凝らした

皇族方の御外遊期間は一ケ年間
妃殿下御同伴を希望申上ぐ　御内規愈よ確定す

【東京特電二十九日發】皇族殿下の海外御滯留期間並に御出發の諸條件御資格等の内規は豫て一木宮相、關屋次官、仙石宗秩寮總裁の手續で愼重に審議中の處、此程大體の案を得たので皇族殿下の御内意を伺ひ御内許を得たので此に宮内省多年の懸案たりし皇族御外遊の内規は確定を見るに至つたが其の要點は

一、御外遊期間を一ケ年とす
一、妃殿下御同伴を希望申上げること
一、毎年御一方づゝ御出發を願ふこと

等である即ち皇族殿下御外遊の目的は御見聞を擴めさせらるゝ外、外國帝室と御親交を厚うされるためであるが長期の御滯留は種々御支障多きため右の如く限定されたものであつて明年五月御渡歐の高松宮、同妃兩殿下には最初に此の規定の適用を受けさせられる

後繼内閣と經濟界影響

【東京三十日發電】民政黨が組閣の曉、財界に及ぼす影響は先づ人事の問題として特殊銀行首腦者の選定にあり、正金、日銀、鈴木興銀は民政系にして任期滿了迄進退は問題で無く、馬場勸銀と宮尾東拓は政友色の濃厚なのと任命事情から見て其進退は疑問視され、島田臺銀は政友臭夫程濃厚ならずとの點に於て前者と異れば兎も角動きなかるべく、次に財界對策としては從來の行懸り上財政經濟緊縮非募債主義金解禁即行等で銀行家方面から見れば先づ〳〵と言ふ程度の歡迎である

地方長官大更迭
後繼内閣の成立後に

【東京三十日發電】後繼内閣成立せば直に地方官の大更迭行はれる管であるが田中内閣は組閣當時及び其の後思ひ切つた地方官異動を行ひ政友系の有色知事を据え前内閣當時の知事は十二名に過ぎない有樣であるから今回の異動は非常に廣範圍に亘り澤田北海道長官を初め京都、大阪、兵庫以下二十數名の休退職者を出す事にならう、尚警察部長、内務部長の更迭も同樣である

総裁は大體憲政の本義に則り政黨内閣の本領を發揮するため原則として貴族院方面より閣僚を物色する事を避け黨内より人材閲歷等を本位に銓衡する事とし只外務に幣原男の入閣は特別な關係上例外であり又伊澤多喜男氏も同樣であるといふ

政友會、新黨倶樂部の提携は完全に成立す
昨日田中、床次兩氏會見　今後の政局に善處

【東京特電三十日發】田中首相は卅日午後四時床次竹二郎氏を麻布三河臺の邸に訪問し總辭職に至れる顛末を報告し併せて今後の政局に處し政友、新黨兩派相提携して善處したき希望を述ぶる所あつたが此會見の結果政友會と新黨倶樂部との提携は完全に成立した、即ち田中首相はこの會見において從來床次氏より受けた援助に對し衷心より謝意を表したる後、既に今日まで政策上においても、指導協力を得、行動を共にして來た次第であるから此事實に鑑み今後の政策上においても隔意なき意見の交換を遂げ、相協定して今後の時局に邁進したいと提議したるに對し、床次氏も之を諒とし、具體的方法につき兩者間に完全なる諒解が成立した模樣である、而してこの田中首相と床次氏の會見により成立した盟約を基礎として田中内閣總辭職直後の政局に對し新運動を開始せんとする機運が釀成されたことは見遁すべからざる事實である

新黨、政友會に合同を申し込む
政友會も提携を希望

【東京三十日發電】新黨の本多、沼田兩氏は政新合同問題に對し善處すべく午前十時政友會本部を訪問し居合せた松本總務、熊谷黨務部長と會見し懇談を重ねたが、政友會として總辭職も今明日に迫れる今日新黨側から參加合同すれば兎も角然らざるに於ては二百三十名を擁する大政黨として對等の合同手續は左樣に簡單速急に實行困難なる事情あり此際は從來通り密接なる提携を保ち時局に善處したいといふにあるもの〻如くである

田中首相談
政策協定に床次氏同感

【東京特電三十日發電】田中首相は語る 昨年の夏以來床次氏が新黨倶樂部を率ゐて執られた行動は諸君の知つての通りである、この行動は余等がためには直接間接援助になつてゐたことは之亦諸君がよく知つての通りだ、そこで余は[illegible]

をよく話して置くことは政治家の禮儀と考へる、政策においては多少は違ふが大體同じである ことは之亦諸君の知つてゐる所だ、今後協力して政策遂行に進まうではないかと話した處、床次君も態々余が行つて身上を明かにしたことにつき非常に喜んでゐた、政策の協力についても同感であつた、新黨倶樂部と合同とか、床次君入黨とかのことについては何も話さなかつた本日のことは今迄のやうに筆を曲げずに書いてくれ

中間内閣運動の一派との策謀か
田中、床次兩氏の申合

【東京特電三十日發】田中、床次兩氏會見により今後政新兩黨は一層提携して精神的結合を完全にし政局に善處すべきことを申合はせたが、兩者の會見は後繼内閣の民政黨に歸することを阻止するため目下貴族院の一部及與黨並に新黨倶樂部が薩派と提携して行ひつゝある擧國一致内閣若くは中間内閣乃至床次氏を首班とする政權奪取運動と脈絡あるものと觀られる

會見内容報告

【東京特電三十日發】田中首相は[illegible]協議の上、首相は午後七時五十分[illegible]

中橋商相等に提携報告

【東京特電三十日發】田中首相は床次氏との會見を終へて首相官邸に歸るや直に小川、中橋兩相を招致して、床次氏との會見内容、政新提携實現等につき懇談協議を行ひ、[illegible]秋田淸兩氏を招き、首相より政新提携成れるを報告し今後の對策を[illegible]

床次氏語る
相提携して時局に邁進

【東京特電三十日發】床次氏語る 田中首相とは議會中に會つたきり其後一遍も會はなかつたので議會中直接間接に協力援助を與へたことについて謝禮のため本日田中首相が來訪した次第である、而して今回辭表を捧呈する決意についての事情等について の話もあつたが今日迄政策上についても種々協力して來たことに鑑み將來も尚相共に提携して國家のため盡力したいといふことが大體の趣意で、余も贊成した次第である、詳しい話は田中首相の方から聞いて欲しい、兎も角今後の時局に對して相提携して邁進しやうといふ約束をした譯だが具體的の細かい話は未だしないから孰れ其内にまた會ふことになるであらう

善後策を協議

【東京三十日發電】田中首相は青山の私邸に午前十時久原遞相、粕谷義三、森恪、田中善立氏等の訪問を受け總辭職決行後の善後策につき懇談した

五分私邸へ歸つた

在露支人を壓迫　財産を沒收放逐
領事館手入れの報復

【ハルビン卅日發電】勞農官憲はロシア總領事館手入れ事件の報復として在露支那人に非常な壓迫を加へて居るが既に財産を沒收されて當地に放逐された支那人七十二名に達す

宇佐美部長哈府へ
伊澤課長らを帶同して

【哈爾賓特電三十日發】東鐵、滿鐵調節實施協議のため滯哈中であつた宇佐美滿鐵々道部長は鳥蘇里本社と打合せのため伊澤涉外課長以下七名と共に卅日午前十時ハバロフスクに向け出發したが約二週間にて歸哈の豫定であると、東鐵側はイヅマイロフ理事以下幹部數名驛頭に見送つた

東拓社債五千萬圓募集許可

【東京特電三十日發】拓務大臣は卅日附東拓の貸出金補充のため五千萬圓社債募集の件を許可した

關東軍司令官親補式
一日行はれん

【東京三十日發電】滿洲皇姑屯事件警備の責任を負ひ村岡軍司令官の豫備役編入に伴ふ陸軍の人事異動は七月一日附を以て左の通り確定御裁可を仰いだので畑、眞崎、三好三中將の親補式は一日午前九時宮中に於て行はせらるゝ事に決定した

關東軍司令官　陸軍中將　村岡長太郎　依願豫備役被仰付

補關東軍司令官　第一師團長　陸軍中將　畑英太郎

補第一師團長　第八師團長　陸軍中將　眞崎甚三郎

補第八師團長　騎兵監　陸軍中將　三好一

亞細亞人種の將來は偉大
トーマ氏演説

【パリー廿九日發電】國際聯盟勞働事務局長アルベール、トーマ氏は廿九日當地のフランス植民學會に於て過般の東洋旅行に就き演説しフランスの極東植民地の發達を賞讚した後東洋人の將來に就き左の如く斷言した東洋諸國がロシアの過激主義を採用しなかつた事に鑑み亞細亞人種は偉大なる將來を持つものであると余は信ずる

上海臨時法院の回收照會文
我領事館に送附さる

【上海二十九日發電】上海臨時法院回收に關する支那の通告は廿九日首席米國領事を通じて我領事館に送附されたが照會文の内容は大體左の如くである

民國十六年一月一日より施行された上海臨時法院暫行協定は採傳芳と各國との間に締結した協定に依るもので右協定期間は本年十二月卅一日を以て滿期とし今年六月三十日以前に支那側より廢棄の通告あれば廢棄出來る事となつて居る、即ち國民政府は六月三十日前に廢棄の意思ある事を玆に賑かに貴國に照會するものなり

日支の商取引開始

【漢口廿九日發電】廿七日市黨部より條令を以て日貨排斥を禁じ反日會に解散を命令した結果一年餘に亘り取引皆無なりし日支商取引は其反動として俄に活況を呈し久し振りで綿糸布、砂糖等一般雜貨の商談が成立した、之が動機は市黨部役員の更迭に伴ひ反日會の内狀暴露と財界の行詰りを考慮した結果なるも我官憲の努力も亦大である

閻、馮兩氏地盤を中央に統一申出
閻氏より蔣氏に對し

【北平三十日發電】閻錫山氏は本日午前北平ホテルで蔣介石氏と會見し西北問題外遊後の善後措置を商議したが、閻氏は右會見に於て閻氏の地盤たる河北、山西、察哈爾、綏遠四省並に馮氏の地盤たりし甘肅、陝西、熱河、新疆四省を擧て中央直轄下に置き軍事政治財政其他を完全に中央にて統一されたしと申し出た斯くて蔣氏は北伐後一年初めて名實共に全支那統一を實現し得た譯である

閻、馮兩氏同船渡日

【北平三十日發電】閻錫山氏は商震氏と共に今朝八時着平した、閻氏は五日大沽發の南嶺丸にて日本へ向ふが太原より直接天津に出で外遊する馮玉祥氏と同船すると語つた尚ほ、閻兩氏は今秋迄日本に滯在し初秋の頃米國から歐洲に廻る豫定であると

山本滿鐵總裁は近く東京發歸任
副總裁招電説は無根

【東京特電三十日發】田中首相は松岡滿鐵副總裁に對し山本總裁が[illegible]日曜には山田要塞司令官の招待で三山島附近に舟遊し快適の一日を送つたほどである又懸案解決の上にから招電が發せられたと東京電報は報じたが事實松岡氏の許へは左樣[illegible]からも目下の處總裁が上京する[illegible]

大商校長歸連

大連商業學校長友木龍氏は去る十二日より五日間東京商大において開催された全國商業學校長會議に列席中であつたが三十日入港の香港丸にて歸連語る 別に變つた議案もなく濟んだが今回は特に實業教育の振興と云ふ事に論議が賑つた

看護婦の資格認可指令

財團法人大連醫院の附屬看護婦養成所の看護婦は滿鐵直營時代には其資格を認められてゐたが改革された後に關東長官の認可を要しそれがため申請中であつた處、廿八日認可の指令があつた

藤根理事歸連

京城方面へ出張中なりし藤根滿鐵理事は卅日午後六時大連着列車にて歸任した

安樂椅子

世界的鐵道通米人グルーバー氏は六ケ月間滿鐵の委囑を受け鐵道各部に亘つて研究調査を遂げ六月中旬その報告書も出來上りいよ〳〵歸國することになつたので松岡副總裁は二十七日夜滿洲館で氏の送別をかねて主なる在連米國人と滿鐵社員を招待して晩餐會を開いた▲テーブルスピーチの非常に上手な松岡副總裁は席上グ氏の勞を謝しその歸國を惜む情を述べて出席者を極度に感激せしめた▲グ氏もすツかり感激してしまひ立つて答辭を述べやうとしたが遂に口がきけないグ氏のまごく〳〵してゐるのを見兼ねた米國領事は立つてグ氏の氣分を轉換させるやうに斡旋するなど全く劇的シーンだつた▲この感激家のグ氏は握手をする際など米人の質朴な田舍者にみるやうに相手方の手を握つたが最後恐ろしい力を入れるのでたいていの者はへいきえきしてしまふ▲一月グ氏が來連した時も氏を出迎へた山崎文書課長、市川營業課長などがこの手にかゝつて今でもこの御兩人「俺アあの時は心中泣いたよ」

實業大勝す
(15A4の記錄を貽し)
卅日の對國大一回戰

國學院大學對實業團の第一回野球戰は卅日午後三時五十分から中央公園實業球場に於て井上(球)芥田(壘)兩氏審判の下に國大先攻で開始されたが、實業の猛打に國大三度投手を代へたが及ばず十五A對四で實業大勝す

▲第一回　國大一死後小池二失に生き二盗、北條また遊失に出で走者二三壘による時早坂四球に一死滿壘、木村の三僴にダブルプレイを喫し好機を逸す△實業一死後宮武安打に出でたが中島の三僴に進壘して刺さる(兩軍零)

▲第二回　國大倉田第二球を左中間に三壘打し二死後榊原の左中間の二壘打に倉田生還し一點を先取す、鈴木の內野安打に走者三壘に進んだが小池の遊僴に終る△實業一死後岩瀬三壘線上に三壘打を飛し平田のバントに還り平田また投手の惡投に二壘に進み安藤弟の遊僴に三進したが木下の三振に一點を酬ゐ同點となる(國大一實業一)

▲第三回　國大三者凡退△實業安藤兄四球に出で高橋の右翼三壘打に生還、高橋また宮武の安打に本壘に入り中島の犧打に宮武二進し捕手逸球に三壘により二死後岩瀬また一壘線上に三壘打を放つて宮武生還し捕手逸球に岩瀬も還り平田三振(國大零實業四)

▲第四回　國大二死後平岡四球を得たが後援續かず(國大投手桑江に代る)△實業一死後木下四球、安藤兄內野安打したが木下離壘して刺され二死、高橋四球に出で宮武の一壘頭上を拔く二壘打に安藤兄生還し中島の右前安打に高橋還り野手の返球を捕手失し宮武も亦ホームを踏みその隙に中島二進し渡邊の飛邪球に終つたが實業更に三點を增す(國大零實業三)

▲第五回　國大一死後小池左中間に三壘打を飛ばし北條の內野安打に生還したが早坂三僴に併殺△實業三者凡退(國大一實業零)

▲第六回　國大不振△實業二死後高橋安打し宮武捕手の打者妨害に進壘したが中島の左飛に物にならず(兩軍零)

▲第七回　國大平岡安打に出で一死後鈴木一壘矢に生き小池中飛に二死となつたが北條の二壘打に走者を一掃し二點を回復す△實業三者無為(國大二實業零)

▲第八回　國大無為△實業一死後木下右翼に三壘打し安藤兄の左前安打に生還、高橋また右中間に三壘打し安藤兄生還(國大投手伊藤に代る)宮武二壘打に續き高橋生還、中島四球に出で走者二三壘に盗壘し渡邊の安打に二者生還し渡邊また二壘に進む岩瀬二壘打に渡邊生還し平田四球に打者一巡し木下の遊失に平田還り一擧に七點を增す(國大零實業七)

▲第九回　國大平岡四球に出でたが榊原の三僴に併殺され鈴木の捕飛にやむ時に六時

實業	打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四球	過失
5 高橋	4	3	3	0	0	0	1	0
6 宮武	4	3	4	0	1	0	1	2
8 中島	3	1	1	1	1	0	1	0
2 渡邊	5	1	1	0	1	1	0	0
9 岩瀬	5	2	3	0	0	0	0	0
7 平田	4	1	0	0	0	3	1	0
3 安藤弟	5	0	0	0	0	0	0	1
1 木下	4	1	1	0	0	1	1	0
4 安藤兄	3	3	2	1	0	0	1	1
計	37	15	15	1	3	5	6	4

國大	打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四球	過失
9 鈴木	5	1	1	0	0	0	0	0
7 小池	4	1	1	0	1	0	0	0
6 北條	4	0	1	0	1	0	0	1
3 早坂	3	0	0	0	0	0	1	1
1 木村	2	0	0	0	0	0	0	1
1 桑江	2	0	0	0	0	0	0	0
1 伊藤	0	0	0	0	0	0	0	0
4 倉田	4	1	1	0	0	2	0	0
8 尾形	4	0	0	0	0	0	0	0
2 平岡	2	1	1	0	0	0	2	3
5 榊原	4	0	1	0	0	0	0	0
計	34	4	6	0	2	2	3	5

二壘打　宮武二、岩瀬、北條、榊原
三壘打　高橋二、岩瀬二、小池、倉田、木下
盗壘數　實業五、國大六
併殺數　高橋、渡邊、安藤弟、榊原、高橋、安藤兄、安藤弟、早坂
審判　井上(球)芥田(壘)
所要時間　二時間

大接戰を演じ滿洲軍勝つ
小谷五段の一本背負で決る
大阪對滿洲柔道戰

接戰を豫想されてゐた全大阪對全滿洲の柔道大會は昨三十日午後一時小倉滿鐵柔道後援會々長代理の開會の辭によつて開かれ約三時間半ぶつ通し炎天下田畑、岡部兩氏の審判によつて行はれ、最後に至る迄五角の勝負で進み、最後に於て大阪軍の大將村上五段と滿洲軍の大將小谷五段によつていよく決戰と云ふ所に至つた、小谷五段は村上五段の襟を摑むや彼の最も得意なる一本背負電火の如く極つて滿洲軍の勝ちとなる、尙戰表及戰蹟左の如し(○は勝×は分)

全大阪　全滿洲
長戶二段×――○佐々木三段
中島二段×――×同
時實二段×――×野間口三段
濱野三段×――×三間三段
田淵三段×――×宮崎三段
岡本三段○――星三段
同　×――×今里三段
和氣三段○――多々良三段
同　×――×筆保三段
石井三段――○岡部三段
中島四段○――同
同　×――×大野三段
森安四段○――鈴木四段
同　――○吉原四段
水口四段×――×同
和田(金)四段――○坂田四段
國川四段×――×同
倉永四段×――×石垣四段
鈴木四段×――×高橋四段
和田(美)四段×―×島田四段
庄野四段×――×深谷五段
中西五段×――×吉田五段
濱野五段×――×佐々木五段
村上五段――○小谷五段

大阪軍　滿洲軍
長戶二段(締)佐々木三段
送り足にて佐々木まづ業をとり、次いでうしろ送り襟をとつて佐々木完全に長戶を破る
中　島二段(分)佐々木三段
闘志みづくしき佐々木は下より締めに出るも中島よく逃げてものにならず遂に時間來り分けとなる
時　實二段(分)野間口三段
時實絕えず下にくゞり足を取つて寢業にゆきあわや一本とならうとする所野間口よく起き上り引分けとなる
濱　崎二段(分)三　間三段
兩人とも柔み合ひ綱の外へ二度も轉び落ちで奮戰したるも分け
田　淵三段(分)宮　崎三段
小兵の田淵寢業で宮崎を襲ふも、ものにならず分け
岡　本三段(横四方固)星三段
岡本横四方によつて星を納へやつと勝ち、これで兩軍同點となる
岡　本三段(分)今　里三段
この時岡部氏田畑氏に代つて審判となる、今里左足拂ひによつて業をとり吊込腰にゆき岡本を攻めるも時間足らず分けとなる
和氣三段(横四方固)多々良三段
おとなしい柔道であつたが和氣まづ攻勢を見せた時多々良大內刈の裏をとつて業となるも次いで和氣優勢に横四方に納へ込んで離さず遂に和氣の勝ちとなる
和氣　三段(分)筆保　三段
和氣も筆保も業が出ず遂に分け
石井　三段(跳腰)岡部　三段
兩者とも小柄なれど潑剌、而も二人とも小さな體で大きな業を出して目も鮮か、最後に岡部の右跳腰見事に極つて一本となる
中島四段(前襟締)岡部三段
一瞬にして中島飛鳥の如く締めて一本をとる
中岡　四段(分)大野　三段
中島矢庭に大野の双足をとつてこれを仆し業ありとなり直ちに納へ込んだるも大野起き上つて引分けとなる
森安四段(崩上四方固)鈴木四段
田畑氏審判となる、森安大內刈をかけて業をとり直ちに上四方に納えて一本をとる
森安四段(右內股)吉原四段
吉原悠々と左內股にて森安を仆す
水口　四段(分)吉原　四段
吉原大外刈の巨砲を放つて敵膽を寒からしむ、水口も亦劣らず內股にゆき緊張味を漂はし堂々と戰ひは轉回してゆくも時間なく分け
和田(金)四段(裸締)坂田　四段
坂田裸締めにて勝ち、にて兩軍互角となる
國川　四段(分)坂田　四段
坂田の寢業の繰り返し凄けれども時間無く分け
倉　永四段(分)石　垣四段
倉永跳卷數度に及ぶも決らず分け
鈴　木四段(分)高　橋四段
高橋の跳腰を鈴木巧みに逃げ、鈴木拂つて巧妙なる拂腰で高橋を襲ふ兩々接戰數合時間なく分け
和田(美)四段(分)島　田四段
岡部氏田畑氏に代つて審判、大兵の和田と小兵の島田寢業にて數合もみ合ふも決せず引分け
庄　野四段(分)深　谷四段
お互業出す遂ひに引分
中　西五段(分)吉　田五段
凄味のある吉田の業を怖れ中西ははじめより中腰となつて豫防に始終し醜體をさらす引分け
濱　野五段(分)佐々木五段
副將同志の戰ひである濱野は佐々木の寢業をきらつて意志なしを速續しつゝ進み引分け
村上五段(一本背負)小谷五段
いよく大將同志の十五分の戰ひである。電光の如き小谷の背負を村上上手に逃ぐるを小谷再びあせらず自信あるものゝ如く村上の襟をとつて機を待ち矢庭にかけた一本背負見事に極つて勝ちとなる

攝氏三十一度五
大連は沿線より涼しからず
暑氣は愈よこれから

◇…暫く遠のいてゐたやうであつた滿洲の暑氣がまたやつてきた、三十日の午後二時三時ごろなど室內に坐つてゐても汗が流れる程大陸的な暑さだ、大連觀測所についてきいて見ると、それもその筈、今月に入つてから去る十六日に攝氏三十二度八といふ日があつた切りそれ以來始めての暑さ、午後二時で三十一度五といふのだ、これを例年に比べてみると攝氏で四度三高く昨年の今日に比べて三度八高いといふのだからこたへる譯だ

◇…南滿各地では午前十一時旅順が二十七度で大連よりはだいぶ涼しく長春が二十六度でこれは更に涼しく奉天が二十八度六、營口が三十一度二で比較的暑いが大連の午後二時よりは涼しいといふのだ、勿論午後二時の營口ではそれ以上更に昇つてゐる筈だが避暑地視せられてゐる大連が南滿各地に比べて決して涼しくはないといふ結論を、苦々しくも昨日の暑さが示した譯だ

◇…觀測所では興安嶺方面に七四六ミリを示す大陸旋風が現れしかもそれの進行が頗る鈍くぐづついてゐるためにこの暑さを見たのだと仰言つてゐるがそれぢやそれさへ片附けば後が涼しくなるのかときいてみると

◇…そうですなア、滿洲の夏期は何んといつても七月、大連地方は七月八月ですから、ほんとに暑くなるのは、まだまだどうしてもこれからですなアー。

―きのふの大滿柔道戰―

五十九時間餘で
東京・大阪間を走破
獎健會マラソン成績

【東京三十日發電】獎健會の大阪東京間四百哩マラソン競走は廿四日大阪をスタートし第七日目卅日を以て終つたが成績は左の如し

一着　山田兼松(香川)
所要時間五十九時間廿九分十一秒
二着　鈴木憲雄(北海道)
同六十一時間十七分二十九秒
三着　高橋清二(東京)
同七十六時間四十六分十八秒

馬券の總賣上高
廿六萬圓を突破
最終日の優勝馬成績

星ケ浦臨時競馬最終日の三十日は日曜日とて場內は滿員而して優勝レースに大番狂はせを演じたが結局、第五競馬の聯隊優勝レースは谷風が一着で關東軍司令官寄贈カップを馬主辻周一氏に、第十競馬春抽優勝は矢走が勝ち大連農會寄贈カップは馬主北村賢太郎氏に、第十一競馬古呼優勝は嘉洋が一着となり關東廳賞典カップは馬主齋藤庚氏に、第十二競馬各抽優勝は天龍が一着で滿鐵寄贈カップは馬主伊藤ナヲ子氏に夫々授與された因に四日目の勝馬及配當は次の如くで六日間の馬券總賣上高は二十六萬七千七十圓であつた

▲第五競馬聯隊優勝二哩半　一着谷風十分三十二秒二、二着白虎、三着萬歲、酒當二十二圓四十錢
▲第六競馬春抽一哩　一着拔天二分二十五秒三、二着一初、三着勇駒、配當六圓九十錢
▲第七競馬各抽一哩　一着扇城二分十七秒、二着更科、三着淡月配當七圓
▲第八競馬春抽一哩八分一　一着乙姬二分三十二秒、二着初風、三着天勝、配當十二圓五十錢
▲第九競馬各抽一哩八分一　一着雷晉二分二十八秒、二着一姬、三着正和、配當四十七圓六十錢
▲第十競馬春抽優勝一哩四分一　一着矢走二分四十五秒、二着華王、三着大黑、配當三十五圓四十錢
▲第十一競馬古呼優勝一哩半　一着嘉洋三分二秒三、二着左近、三着大斗、配當七圓五十錢
▲第十二競馬各抽優勝一哩四分一　一着天龍二分四十二秒、二着昇龍、三着伊吹配當五十圓
▲第十三競馬各抽一哩　一着旭二分十一秒、二着名草配當七圓十錢
▲第十四競馬春抽一哩　一着楓二分二十四秒四、二着雄飛配當八圓三十錢

タバン
懷中時計
TAVANNES 21 JEWELS

馬に壓潰され
騎手人事不省

尙最終レースに於て薄守亥氏所有馬淸一色は決勝に入る前八分一哩所に於て雄飛と並走中突然前兩脚を折つて倒れ騎手長友は馬に壓し潰され人事不省に陷つたのを辻醫師及び場內出張中の赤十字社救護班の應急手當を受け蘇生、唐澤病院に入院したが生命には別狀ないらしく馬は屠殺された

新時代娘寶典

他人に一寸聞難い娘二十箇の惱み、重大事項色々の座談會。婦人俱樂部七月號で非常な好評です。

記者團大勝
對市中OB戰

市中OB對大連記者團の野球戰は卅日午前十一時四十分より滿俱球場にて濱崎、安藤兩氏審判の下に擧行廿一へ對七(五回ゲーム)で記者團大勝午後零時廿分閉戰

奉天の赤痢患者
一日八名を出す
ますく蔓延の兆

【奉天特電三十日發】時節柄奉天にも近來赤痢患者續發し二十九日の如き一日に八名の患者現れ尙續發する傾向があるので當局では大童となつてこれが防疫に努力してゐるが其の原因は食物の中毒、寢冷等から下痢を起し遂に赤痢となるものが大部分を占めてゐる、尙本年一月來赤痢患者の發生は例年より非常に多數に上り合計七十四名で其の中全快者廿五名、死亡五名に及び現在患者は四十四名に達してゐる

明大嚶聲會
天幕生活
日割決まる

明大嚶聲會滿鮮視察團十名は七月九日來連することゝなり着連當日直に黑石礁にキャンプを張り、次いで七日は黃金臺にキャンプ、引きつゞき左記のプログラムでキャンピングをなす由

十二日金州八里庄キャンプ▲十三日熊岳城溫泉ホテル前キャンプ▲十四日湯崗子溫泉ホテル前キャンプ▲十五日鞍山遼陽を見學の上奉天の旅館投宿▲十六日奉天公園キャンプ▲十七日撫順見學▲十八日長春見學の上吉林松花江畔にキャンプ▲十九日公主嶺試驗場キャンプ▲二十日奉天キャンプ▲廿一日五龍背キャンプ▲廿二日安東見學▲廿三日より平壤を經て京城、仁川、釜山とキャンプ又は旅館宿泊をなし二十七日下の關で解散する

航行禁止區域

大連港第四埠頭築造のため船舶に對し港內一部航行の禁止をしてゐるが、第三と第四埠頭の中間に於けるブイに夜間の航行危險防止として點火照明することになり關東廳地方課では右禁止區域に船舶の這入らぬ樣規則を設け廳令を公布して取締る方針であると

水泳中に溺死

三十日午後一時四十分市內薩摩町關東館內井上榮一(一五)は星ケ浦東海岸で游泳中溺死し、大黑町六七山崎方淺野滿司(一四)沙河口巴町五八大畑幸平(一三)も同日午後星ケ浦東海岸にて游泳中危く溺死せんとしたのを救はれた

人轢き自動車

三十日午後六時市內若狹町第一タクシー運轉手宮谷砂一(二〇)の操縱する自動車は山吹町十番地で前方を橫切つた北崗子苦力宿舍六號王奎和(二〇)を轢き右足骨折治療六週間の重傷を負はせた

●●●●●●

日本足袋の進出　日本足袋會社は今回市內磐城町ラクダ屋を特約店として滿洲進出に力め又ラクダ屋は店舗改築披露の爲め奉仕的販賣に力むると

けふのラヂオ

昭和四年七月一日(月曜日)
自午前十一時　相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)
自午後零時三十分　相場(特產、錢鈔、各地相場)ニュース
自午後三時三十分　相場(特產、錢鈔各地相場)ニュース
自午後七時三十分
一、ニュース
二、宗教講座(自敎宗敎的考案)靑山學院敎授今井三郎
三、露語講座(第十一課)大連語學校グロースマン
四、謠曲(八島)大連觀世會シテ芥川秀子、ワキ渡邊政喜、地鈴木照子、加藤菊枝、中島愛子、渡邊政子、鈴木文子
五、義太夫(朝顏日記宿屋段)太夫岡崎喜鳳、三味線竹本佐太夫
六、料理獻立
七、天氣豫報

滿日地方版

奉天

「金剛呪門」映畫會 七月三日四日の兩日 公會堂に於て開催

沿線各地で多大の好評を博してゐる本社連載小説金剛呪門の映畫は來る七月三、四の兩日午後七時から滿日社並に奉日社後援の下に公會堂に於て一般に公開することゝなつた、入場料は普通八十錢であるが滿日及び奉日紙讀者は紙面にすり込みの割引携帶者に限り五十錢で觀覽に供すると

千代田通に 拳銃強盗

廿八日午後十時廿分頃千代田通廿番地支那兩替店稿來興銀號事務所彩印(三〇)方にて店仕舞をなし勘定中外部窓口より一名の支那人がモーゼル拳銃を突きつけて現大洋を出せと強要したので店員はそこに備へられてあつた非常ベルを押すと共に裏口に逃げたため一物も得ず逃走した急報により奉天署では犯人嚴探中であるが彼は卅歳位で黑の支那服を着してゐたと

奉撫野球試合

この程奉天滿倶は撫順に遠征して惜くも敗れて歸つたが來る七月三日は撫順滿倶側から奉天に來り同日午後三時より新グラウンドに於て野球試合を擧行する由

監獄の大繁昌

時節柄近頃犯罪多く從つて多數の犯人が逮捕されるが現在支那側で收容してゐる囚人だけでも一萬餘人に達してゐると云はれ之がため第一監獄は收容し切れないので廿九日五十名の囚人を遼陽に送つたが卅日は更に五十名の囚人を鐵嶺に送ると

人事

▲秦少將 廿九日朝安東へ
▲保々滿鐵地方部長 廿八日夜歸連
▲平野學務課長 同上
▲金井衛生課長 同上
▲向坊業務課長 同上
▲長山經理課長 同上
▲大岩參事 同上
▲東京見本市展示會員一行卅七名 三十日朝大連より來奉
▲高橋琢也氏(貴族院議員) 二十九日遼陽より來奉六日撫順觀察同夜公主嶺へ向ふ筈

長春

商議建直しの爲 實行委員を選任 各界代表者等集合し 廿八日善後策を協議

長春商工會議所建て直しの時期が愈到來し廿八日地方事務所に各界代表廿四名が集まり協議會を開いた、午後二時半開會、土肥地方事務所長(商議相談役)が座長席につき意見を交換したが永らく紛擾を續けた後とて何れも愼重に協議し土肥氏の發議で實行委員を選ぶ ことゝなり先づ之が詮衡委員として奥平取引所長、釘宮國際支店長、石崎取引人組合代表を指名し三氏別室に於て協議した結果實行委員として左の七名を選び何れも承諾した

銀行團代表 栗原重康
木材業組合長 彼末德雄
取引所信託 山中繁雄
特産商代表 古田寒一
商店協會長 岡田市太郎
電氣 大浦力
綿糸布組合 玉柏市太郎

實業委員は商議復活の日まで存在すべきや商議建直しの原案起草委員たるべきやにつき土肥氏から前者を主張したが多數の意見にて後者に決定した、栗原銀行團代表から商議令實施まで復活を見合 せては如何との議が出たが議場の空氣は即時復活に傾いてゐたやうである、然し栗原氏の主張は實行委員會に於て開陳することゝなつた、土肥事務所長から商議は貿易業中心にせられたしと滿鐵の希望を述べ最後に現在殘つてゐる會員五十五名を如何にすべきやにつき押問答あり彼末氏は之等會員から代表者を選んで委員に入れては如何と提議し二階堂氏は會員を代表して之等會員中には既に會議所は自滅したものと思つてゐるものが多いが復活問題については深甚の注意を拂つてゐると述べ結局委員に一任することゝなつた、三級制については今井氏から 反對 あり、三級制にすべきやにつき協議長時間に亘り大垣書記長は各地の實情を述ぶる所ありまた過般關東廳から各地商議の意見を徵した時長春商議は最低公費二十圓即ち會費年額八圓を納入する者に限るを可とすと回答した實例があるので之を採用しては如何との意見があつたが紛擾問題當時入會した新年額二圓程度の會費を納入する會員を如何にするやが問題となつたが之亦實行委員に一任することゝし五時散會、當日の出席者左の通り

滿鐵地方事務所 土肥顧
長春警察署 中尾大次郎
領事館 大島文市
輸入組合 久米吉次
商店協會 岡田市太郎
木材組合 彼末德雄
取引人組合 石崎廣次郎
特産商組合 福田右一
國際 釘宮松三郎
電氣 大浦力
綿糸布組合 玉柏市次郎
藥業組合 今井覺太郎
精米業組合 二階堂頼乘
燐寸業 前田伊織
銀行團 栗原重康
信託業 山中繁雄
取引所 奥平廣敏
郵便局 石田英
三井物産 古田寒一
長春實業新聞 柏原孝久
北滿日報 箱田琢磨

殘存會員は 一應脫會 實行委員會開催

協議會閉會後直に實行委員會を開いた、彼末氏年長の故を以て委員長となり左の通り決定した
一、委員會は毎週水曜日午後一時半からホテルに於て開くこと
二、大體當日を合せて三回の委員會で決定すべきこと
三、委員會は個人の人物批判に觸れる場合を除き公開すべきこと
次で彼末委員長から商議の根本的建て直しを實行する上には現在殘つてゐる會員五十五名を考慮してゐては自由な裁斷が下せないから あると 一應脫會して貰ふ必要ありとて之の方法につき協議した結果事務局の名で一應脫會を勸告し且つ主なる會員四、五名に對し事情を述べて一應脫會せられたき旨通ずるやう土肥事務所長に斡旋方を委囑することに決し六時閉會した

春季スポンヂ リーグ戰

長春人の年中行事の一とも言ふべき各團體の春季スポンヂリーグ戰は愈六月三十日の日曜から開始されることゝなり當日は午前九時舊グラウンドに於て右各團體選手が盛大な入場式を擧行した、次で九時からCD倶樂部(地方事務所)對列車區及び正午から鐵火軍對操車の第一回戰が開始され二回戰は午後二時から益滿寮對瓦電軍、午後四時から鐵友軍對撫天軍が行はれた爲リーグ戰番組は左の通り

六月三十日
一、CD倶樂部對列車區(午前九時半)
二、鐵火軍對操車(正午)
第二回戰
三、益滿寮對瓦電軍(午後二時)
四、鐵友軍對撫天軍(午後四時)
七月一日
五、一の勝者對驛友軍(午後四時半)
二日
六、二の勝者對國際軍(午後四時半)
三日 準決勝
七、三の勝者對六の勝者(午後四時半)
四日
八、五の勝者對四の勝者(午後四時半)
五日 優勝戰

撫順

廿四時間に亘る 珍らしい大斷水 撫順の全市民大騷ぎ

廿二日夜來十七時間の斷水騷ぎの直後またまた廿九日午前六時水源地淨水濾過池より老虎臺貯水池に至る口徑二十吋の送水本管破裂し撫順全區に亘り廿四時間といふ撫順初めての斷水を見た、今回破裂した所は前回破裂した個所から數尺をへだてた點で破裂原因は過般同所にセンチュリメーター附替を行つた際微な故障が起きてゐた個所が今回水壓の加減で突如破裂したもの、如くである、炭礦側からは久保次長、中野庶務課長、郡工務事務所長渡邊運輸所長、森下水道主任等現場に急行工務關係者と機械工場員以下協力百十數名の人夫を督勵し地下を掘破裂個所の送水管を切斷フランジュパイプの交換を行つた、斷水期間の應急處置として消防隊の自動車ポンプ、撒水タンク、トラック等で 新市街 千金寨、大山坑、東鄕坑、東ケ岡等の順序で給水しゐるが到底間に合ず急設給水場はバケツ、手桶等をさげた連中で大混雑を呈した

旅順

旅順プール入場者に 精勤證を授與 兒童の體力增進の爲

旅順運動場プールは體育研究所では開場期間七、八の二ケ月のうち約三十日間出席した者に對し精勤證を授與することゝなつた、之は滿洲には特有性の呼吸氣病、皮膚病が多いので夏期中にプールによつて幾分でも其の抵抗力を養ひ虛弱兒童の體力增進とプールに集ると云ふことだけでも運動精神を養ふことになるからである、なほこの入場票は體研にあるからあらかじめ貰ひ受け住所、氏名、年齡、職業等を記入し最初屆け出で出席票箱に投入すればよいと

棉花發芽良好 西河技手視察談

旅順及普蘭店の棉花發芽狀況を調査し二十七日歸廳した西河技手は語る

七月二日頃までに降雨がなければ旱害を蒙る箇所もあるだらうが大體に於て發芽狀態は良好であつて三、四寸から六寸見當に延びてゐる、この分で行けば播種面積の約八割方は大丈夫生育して行くものと考へられる、尚棉花は高粱よりは強い點があるだけ旱害に對しては今の處ハツキリした數字は判らぬ因に高粱は既に日ワレした箇所もあると

森氏の視察出張

旅順師範學堂森增一氏は本年夏期開催される全國地歷研究會に出席するため來る二十七日頃約四十餘日間豫定にて內地へ出發することになつてゐるが、其際臺灣廈門仙頭、廣東等の學事視察をもすると

市井一束

◇正面衝突 旅順民政署電氣水道事務所傭人馬祥貴(二一)は二十七日午後七時五十分頃自轉車で乃木町三丁目を疾走中前方から來た旅順タクシー運轉手藤原治行(二〇)の自動車と正面衝突、幸ひ負傷はしなかつた
◇幼女に暴行 市內乃木町某日本商店方傭人裴總江(二二)は二十八日主人の娘須磨子(四ツ)に暴行負傷せしめ强姦罪として告訴された同人は數十回に亘り賣掛代金を橫領したものであると
◇情夫に毆らる 市內三笠町九の二漁夫高津太郎事高蓮鈞(三九)は二十七日妻雀(二七)と情夫西港碇泊中の發動漁船大德丸機關士金吉先(二七)とが迎橋派出所附近通行中を發見、却つて金のため毆打されたが、結局金は女と手を切る事高に慰藉料十圓也を拂ふ事で落着した
◇落し物、拾ひ物 王家店會滿街溝屯二九黃仁德は二十八日馬車上に於て小洋四圓二十錢入財布と櫻桃三〇〇匁を遺失▲旅順療病院當鑛二は二十八日乃木町一丁目街路で八角十六型腕時計を拾得

開原

運動支部幹事

滿鐵運動會開原支部では今回幹事改選の結果左記諸氏當選決定した
▲野球部大慈浦徹一、西海菊之助▲庭球部大橋淳一、田中毅一郎、中村仁三郎▲弓道部楢本三郎、野島玉次、加藤木造酒之助▲水泳部大橋淳一、遠藤憲治郎、家古谷源濟、笹川友作▲陸上競技部齋藤梅雄、味喜眞一、山上一雄、增田滿志▲劍道部清水龜喜、霜島正治▲柔道部前田澄明、楢詰ガ吉▲氷滑部植木萬治、田中敏一

洋服講習會

開原地方事務所社會係にては鐵嶺高林倉之助を講師に洋服裁縫講習會を開催すべく會員募集中であつたが愈來る七月三日水曜日より滿鐵倶樂部に於て開催する事となつた、因に講習時間は毎水曜日午前八時より午後四時までにて謝禮は一ケ月一名金二圓であると

水泳部の帽子

開原水泳部にては今回泳法指導員委囑と共に會員の帽子を左記の通り制定する事となつた
指導員黑帽白線二本、役員黑白色別帽、有段者黑帽白線一本、一級白帽黑線三本、二級白帽黑線二本、三級白帽黑線一本、四級白帽赤線二本、五級白帽赤線一本、級外白帽

哈爾賓

新舊所長披露

新任哈爾賓滿鐵事務所長築島信司氏舊所長古澤幸吉氏の更任披露宴は二十七日午後七時民會公會堂で開催官民三十餘名出席の主だちたるもの出席し盛大であつた、尚新所長は二十八日東支倶樂部における露國側の招待をすました上二十九日夜十時四十分發大連へ一應歸り來月七日頃家族を引き連れ歸任の筈

鐵嶺

愈よ惡疫流行期 地方事務所では消毒のため クロールカルキを配布

愈よ惡疫流行の時期となつた爲め地方事務所では之れが對策として先づ野菜果物類の消毒を勵行すべく例年の如くクロールカルキを無料配付すべく目下準備中であるが鐵嶺に於ける惡疫流行期は從來七月以後を例としてゐたが今年は時期早く本月既に數名の赤痢患者の續出を見た程であれば一般にも極力豫防警戒の必要がある

赤痢患者發生

當地滿鐵社宅丹スミ子、得勝臺居住支那人紀氏は二十九日赤痢と決定、又當地松島町支那人姜慕生は同日猩紅熱と決定何れも隔離された

運動協會の資 金捻出興行

鐵嶺運動協會はシーズンを迎へながら基金に缺乏せる爲め充分斯道獎勵の實を擧ぐる能はず基金捻出の策に就て種々協議されてゐたが矢張り寄附金を募集するより優秀な映畫を公開し市民一般の援助的觀覽を希望する事とした

基金募集の興行とは言へ將來もある事とて映畫は充分選擇し各階級を通じて觀覽の價値あり有益なるものを呼ぶべく松田興行

輸組の商品券

鐵嶺輸入組合が頗る便利な共通商品券を發賣すべく準備中なるは既報の通りであるが商品券の種類即ち一圓、五圓、十圓券の三種に區別する事は小口金額の商品賣渡しに不便少からず需給者相互に思はぬ損失を招く事もあるやうな事情につき五圓、十圓券を廢し全部一圓券とし小口金額の購買も容易に出來る事にする筈であれば所有者の爲めにも加盟店の爲めにも非常に便宜となるであらう

赤堀氏の葬儀

二十八日未明腦溢血で忽然長逝した陸軍步兵大尉鐵嶺在鄕軍人分會長赤堀眞一郎氏の葬儀は廿九日午後四時より商品館クラブに於てしめやかに執行されたが軍隊方面を始め會葬者頗る多く稀に見る盛儀であつた

今日の案內(一日)

◇夏期執務時間 地方事務所では本日より八月末日まで執務時間を變更し[illegible]より午後三時までとす但し現金出納は正午まで、郵便局其他の官廳も同樣變更される

安東

鴨綠江へ 投身自殺

佐賀縣佐賀郡生れ當時新義州雲井町道廳土木課員林田熊藏方星野陸秀(二二)は二十七日午後五時十分頃新義州税關棧橋から鴨綠江へ投身自殺を企てたが折柄巡廻中の渡邊巡査が發見附近の警備船機關長深川清大氏外數名と共に江中に飛込み危險をおかして救助し應急手當の結果漸く一命は取止めた、原因は家庭に複雜なる事情あるらしく星野は四、五歳の折から叔父である林田氏の家に養はれてゐたが悲觀の爲精神に異狀を來し右の仕末に及んだものであらうと思はれる

輸組好成績

安東輸入組合は營業開始以來可成りの好成績を擧げてゐるがそれでも商團組織が意の如く進捗しなかつた爲未だ充分其の機能を發揮し得るに至らなかつたので最近組合員相互の理解から漸次商團が組織されると共に輸組の利も增加する一方にて現在貸出十一萬圓以上に達し營業開始以來の記錄を示してゐる

安東片々

◇江岸假泊中の日輪組所屬船が五十噸の釘を積轉した儘密輸船と認められ支那海關に差押へたる件に付二十八日商議上田書記長は公署に稅務司を訪問種々折衝を重ねたるも海關側强硬にて圓滿なる解決は困難の模樣である
◇二十八日安東驛入電に依れば南鮮地方大降雨の爲め新幕以南は電信不通となりたるを以て同地方に對す發信は見合されたいと
◇村岡關東軍司令官は二十八日朝七時着列車にて來安直にホテルに入り小憩の後關係方面を歷訪守備隊の初年兵檢閱を終へ九連城に赴き戰跡の視察をなした

熊岳城

農作物蘇る 廿八日の慈雨

農業關係者の多數を占むるだけに降雨を待たれた當地方にも二十八日來の慈雨に各農家も甦つた如く喜び枯死になくとしてゐた總ての農作物は蘇生して何れも歡喜に滿ち滿ちて居る

蓋平公學堂 廿周年記念

蓋平公學堂にては來る七月一日を以て創立滿二十周年に達するので當日は附近日支官民の主なる人々及び學堂關係者各新聞記者等を招じ記念式及び祝賀會を開催する

新舊驛長歡送迎

今回大連鐵道事務所に榮轉する事となつた熊岳城驛長廣谷宗一氏の歡送別宴後任驛長石井忠一氏の歡迎宴は二十九日午後六時より溫泉ホテル廣間に於て開催せられたが定刻發起者代表渡邊柳藏氏の挨拶、新舊驛長の謝辭あり出席者三十餘名に達し盛なる送迎會であつた

愛慾の窓(25)

戸川貞雄作 淺枝次朗畫

生活の淵(五)

久彥は足を停めると、微笑を以て彼女の近づくのをビルディングの角で待つてゐた。

狹い舖道の上を、互ひに肩を押しつけ合ふやうにしながら、靴音も輕く彼女等の一團は近づいて來た。

久彥は口にしてゐた煙草を捨てると、思ひ切つてつかつかと自分の方からも步み寄つていつて

「……やあ!暫くでしたね、お見忘れでせうか?僕は先だつて箱根でお目にかゝつたものです」

と、快活さをよそほひながら聲をかけた。

「……まあ!」

と、彼女は步みを停めた。そして丸い眼をくるくる動かして、久彥の顏を見上げた。

最初窓越に見た時の、小ざつぱりとした白テープに緣取られたコバルト色の薄絹のワンピースで、無造作に鍔のまくれ上つた、黑のタスカンを冠つてゐる彼女の樣子にも、それからその笑顏にも、明るく無邪氣な處女らしさが溢れてゐる。

「……奇遇ですわねえ!あなたも何處かこの邊の會社にお勤めですの?」

「……さうです、あなたのお勤めになつてゐらつしやる小森商事の背後のビルディングに勤めてゐるんですよ」

久彥は相手の少しもわだかまりの無い態度に同化されて、心から快活になりながら云つた。

「あら!ぢやアあなた御存じだつたの?わたしのこと!ま、ひどいわ!」

彼女は眼を瞠つていふと、心もち顏を赧らめた。

「……いゝえ、たゞあなたがあすこへお勤めの御樣子を、お見掛けしたといふだけのことです、それ以上は……いや、僕はまだあなたのお名前もお所も、知らないんです」

「……さう、さう仰有れば、わたしもあなたのことを思ひ出すやうな機會は、なかつたかも知れませんわ、こゝでまたお目にかゝるやうなことさへなかつたら、ね」

と、彼女は少女らしくやゝ感傷的に云つたが、久彥の差出た名刺を受取ると

「……草野久彥さん、と仰有るのね、いゝお名前ね、わたしは……名刺なんかないわ、小森商事の庶務課の女事務員、仁科美知子です、何卒よろしく!」

さうやゝ道化て云ふと、ぴよこんと女學生染みたお辭儀をした。

「……仁科美知子さん?いゝお名前ですね、でもあなたは何うして女學校をお罷めになつたんですか?」

と、久彥は訊ねたが、直ぐ氣の利かなさ加減に氣付くと

「いや、御免下さい、いづれゆつくり伺ふ機會を有ちたいんですが、立話も出來ませんし、お差支へなかつたら、そこらでお茶でも飲みませんか?」

といふ。

「……あなた、不良會社員ぢやアないの?いやよ、若しさうなら……ホヽ」

と、美知子は笑つて、少し離れたところでかたまり合つて彼女を待つてゐる同僚の方へ眼を向けたが

「……今日は駄目ですわ、あのね、皆さんと一緒にシネマへ行くことになつてゐますの」

「何處ですか……?」

「……邦樂座ですの、故參のタイピストの方がね、誘つて下すつたので、行かないと惡いの」

「……さうですか、行つてらツしやい、僕は大變無躾だつたやうですが、お氣に止めないで下さい、箱根のお禮を申し上げなければならないと思つてゐたんです」

久彥はさう云つて、パタパタと同僚の方へ馳け去つた美知子の後姿を見送つた。

七月川柳課題

七月五日締切 「波、浪」 中沼若蛙選
七月十日締切 「暗號」 篠田醉雷選
七月十五日締切 「扇風機」 高橋月南選
◇用紙はがき必ず別記のこと
滿日文藝係

新刊紹介

▲物語支那史大系第一卷(十二朝軍談、列國志前編)十二朝軍談は太古から殷末までの軍談書で治亂興廢の詳細の外に趣味逸話傳記が悉く網羅してある列國志前編は殷末から周の平王までの軍談書である(四六版五九八頁布製東京牛込區早稻田大學出版部)
▲八家文第三(松平康國講述)本書は二大漢籍國字解中の一册で蘇老泉集全集を蘇東坡集の前半とを收めて之れに詳解を施したものである、本書は文書の課本であるから文義を詳解した上に古作者の修辭上の工夫を説明し名家の文辭を揭げて讀者の參考に勉めて居る(菊版六八〇[illegible]早稻田大學出版部)
▲小タイムス(七月號)東京牛込區早稻田[illegible]町區內幸町一丁目五番地小タイムス社(定價二十五錢)
▲改造(七月號)山岳特輯と同グラビヤ寫眞二十三葉[illegible]田久吉、冠松次郎、浦松佐[illegible]郎、槇有恒、小島烏水、[illegible]郎、木暮理太郎諸氏が執筆あり其の他鶴見祐輔氏の[illegible]成論、德富猪一郎氏の遊[illegible]記等がある東京市芝區愛宕[illegible]四ノ六改造社(定價八十錢)
▲祖國(七月號)五拾錢[illegible]京市外千駄ケ谷町千駄ケ谷二學苑社